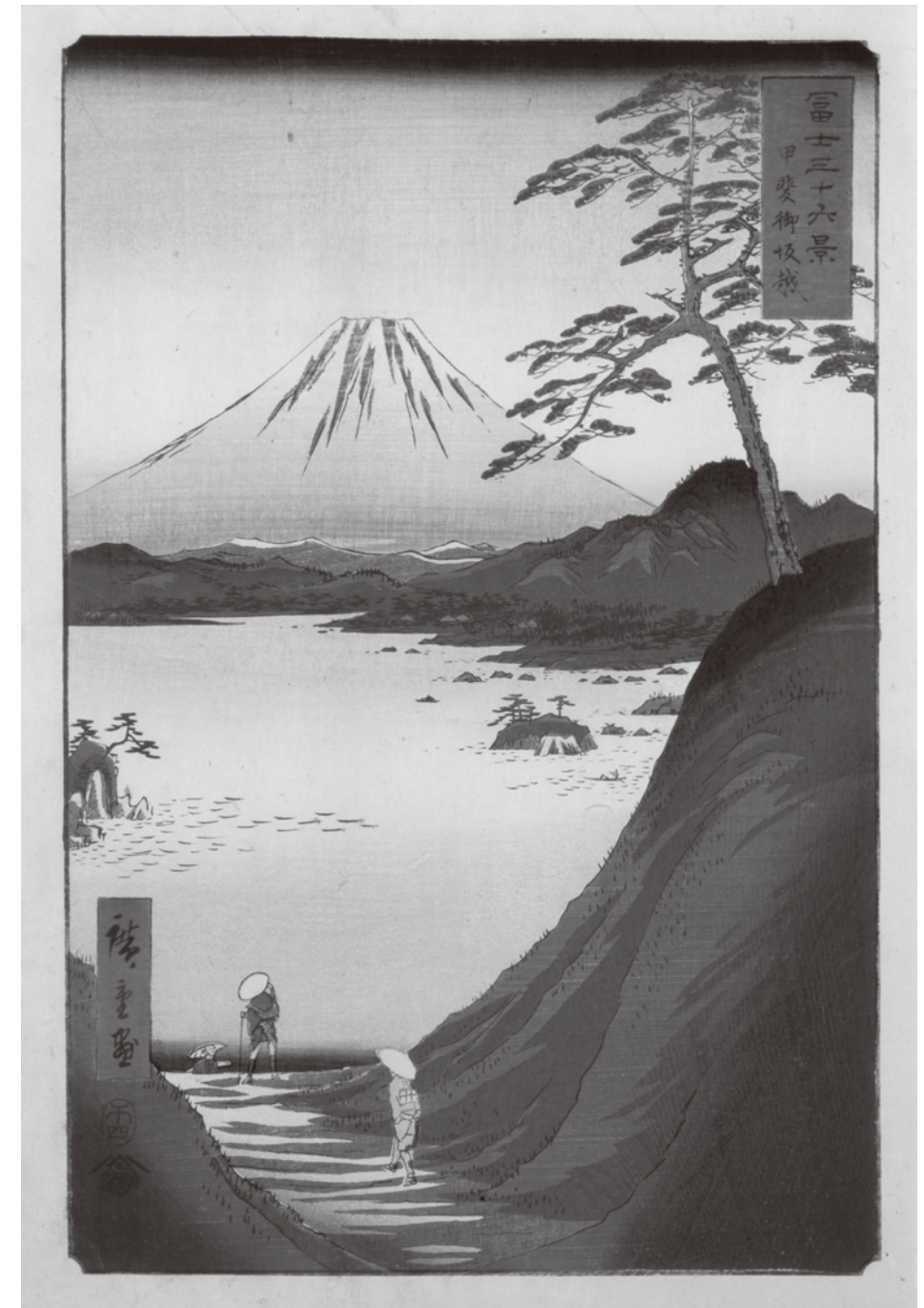


富士御師の檀那所と御山参詣

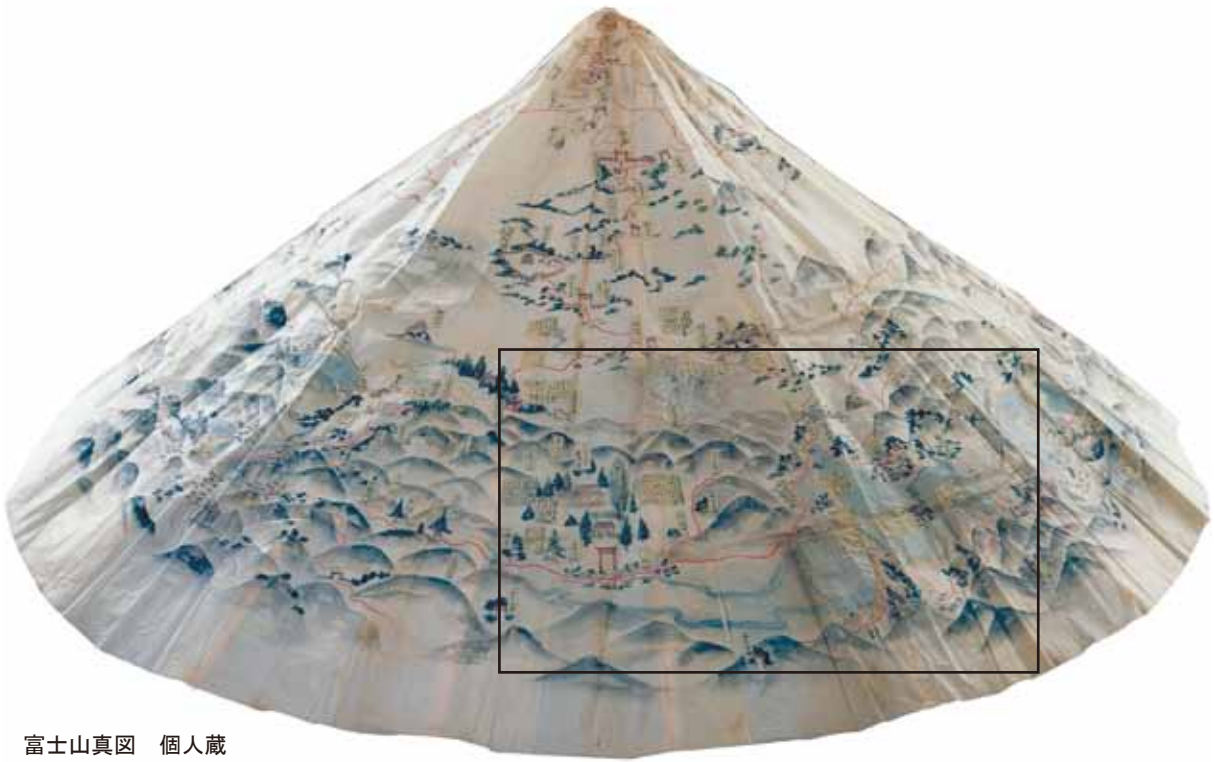
富士御師の檀那所と御山参詣





富士登山人改帳（天保9年） 当館蔵 [上]

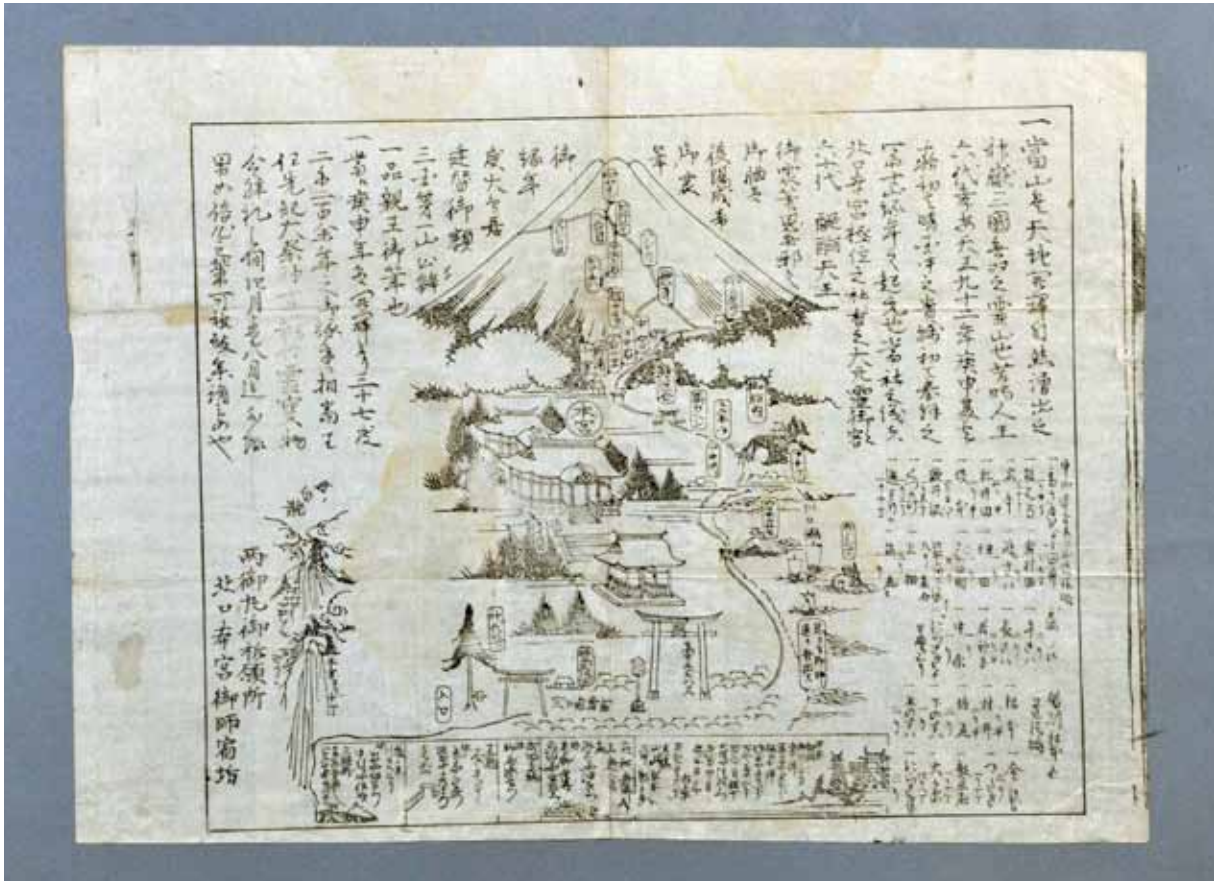
富士登山道者人別改帳（天保12年） 当館蔵 [下]



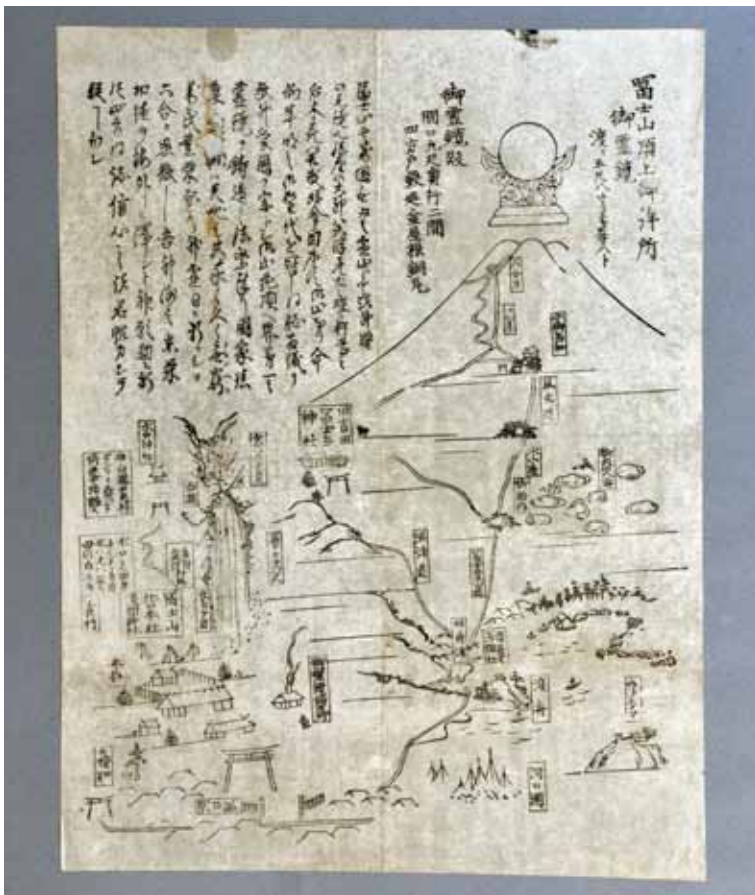
富士山真図 個人蔵



枠内拡大



兩御丸御祈願所北口本宮御師宿坊圖（万延元年・1860） 個人蔵



富士山頂上御拝所御靈鏡圖（明治初頭） 個人蔵



富士山神系御山絵図（幕末～明治初頭）個人蔵

序

富士山は、その秀麗な山容と広大な裾野をもつ成層火山という自然環境を背景に、山岳修験の霊場や信仰の対象として、そして芸術の源泉としても多くの人々を惹きつけてきました。その価値が認められ、平成25年6月には世界文化遺産登録を達成することができました。

山梨県教育委員会では富士山をめぐる自然と人の関わりを総合的に調査研究するために、富士山総合学術調査研究委員会を設け、平成20年度より各分野にわたり調査研究を進めてまいりました。平成24年度からの第2次調査においては、当館に事務局を置き、さらに調査研究を深めてまいりました。その成果については今般、『富士山 山梨県富士山総合学術調査研究報告書2』として刊行されました。この間、県立博物館でも、総合学術調査研究との連携を図りながら、特定のテーマについて共同研究を進めてまいりました。平成26年度には河口集落の成立と歴史について歴史、民俗の両面から調査した成果を『河口集落の歴史民俗的研究』（山梨県立博物館 調査・研究報告7）として発行いたしました。

本書はその後の調査成果を踏まえ、かつ総合学術調査研究報告書には盛り込めなかったデータを収録し、考察を加えたものです。河口集落に関連する歴史資料の検討により、富士御師の檀那所と富士山北面に参集し登拝する道者の動向が具体的に明らかとなりました。近世における富士信仰の地域的広がりや歴史の変遷をさぐる上で意義深い成果が得られたと考えております。

本書の成果が富士信仰の歴史を考える上で活用されるとともに、富士山を正しく理解する一助となれば望外の喜びであります。この度の調査・研究にあたり、ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

山梨県立博物館

館長 平川 南

例 言

1. 本書は、平成 27 年度における「富士参詣路の歴史的研究」の調査・研究報告書である。
2. 本調査は、県立博物館（県費）による共同研究事業として実施した。本調査の経緯は次のとおりである。平成 24 年度から平成 27 年度まで実施した山梨県富士山総合学術調査研究（第 2 次調査）の中で、歴史考古民俗部会（文書班）が行った富士河口湖町河口地区における文書調査をもとに実施した。甲州史料調査会の成果（『河口湖の古文書と歴史』）から学び、『河口集落の歴史民俗的研究』と『山梨県富士山総合学術調査研究報告書 2』に掲載した本庄邦久家文書を中心に据え、富士御師の檀那所と富士山北面に参集し登拝する道者について整理したものである。
3. 本調査は、下記の内容に従って実施した。
 - （1）調査の趣旨
河口地区について、御師文書の調査と文書所在目録の作成を行い、平成 27 年度に「調査・研究報告書」を刊行する。
 - （2）調査対象
富士河口湖町河口地区に所在する富士御師の文書・記録
 - （3）調査内容
 - ① 文書・記録調査
 - ② 文書所在目録の作成
 - ③ 文書・記録の調査・研究
 - ④ その他、信仰資料や石造物などの関連調査
4. 共同研究参加者
菊池邦彦 東京都立産業技術高等専門学校教授
堀内 亨 山梨県立ひばりが丘高等学校教諭
宮澤富美恵 山梨県立博物館非常勤嘱託
堀内 眞 山梨県立博物館非常勤嘱託
5. 本書の執筆分担は次のとおりである。

堀内 亨	1	川口御師の檀那所と御坂峠越の道者（資料解説）
堀内 眞	2	富士山北面の参詣路・登拝路（表作成）
6. 本書の編集は、堀内眞・植月学（県立博物館）が行った。
7. 掲載した写真は、共同研究参加者および県立博物館が撮影したものを用了。
8. 調査および報告書作成にあたって、次の方々にご多大なご協力をいただいた。
網野末彦 勝又洋 萱沼安孝 斉藤洋子 中田進 箱山敏江 本庄利久 本庄元直 本庄八重
三浦司郎
河口浅間神社 富士河口湖町河口地区公民館 富士河口湖町教育委員会（財）富士博物館
富士吉田市歴史民俗博物館
（敬称略・順不同）

目 次

口 絵
序
例 言
目 次

富士御師の檀那所と御山参詣

1 川口御師の檀那所と御坂峠越の道者	1
表1 富士御師の檀那所と御山参詣	2
図 河口・吉田御師の檀那所と道者	22
2 富士山北面の参詣路・登拝路	34
表2 御坂峠越の参詣路と山道・風穴道	37
文献・あとがき	39

表 紙	富士三十六景	甲斐御坂越	歌川広重筆	当館蔵
裏表紙	不二三十六景	甲斐夢山裏富士	歌川広重筆	当館蔵

1 川口御師の檀那所と御坂峠越の道者

〔江戸八百八講〕に象徴される18世紀後半以降の江戸市中における富士講の隆盛は、いきおい我々の視線を、甲州道中を西行し、大月から桂川に沿って南下して吉田に至る〔富士道〕に導く。たしかに、万延元年（1860）の庚申縁年を期に刊行された案内書『富士山道知留辺』はこの道筋を紹介し、滑稽本『滑稽富士詣』にあっても主人公はこちらをたどる。加えてこのルートに沿って鉄道が整備されるに及んで、主要登拝路としての地位は不動のものとなった。

しかし、江戸を中心に関東各所で富士講の講中（講社）が結成されるはるか以前より、富士山は列島各所からの登拝者を集めていた。15世紀末から16世紀前半にかけて、北麓の登拝拠点として、吉田（富士吉田市上吉田）が賑わいを見せ始めたことは、『勝山記』（『山梨県史』資料編・中世3上）の記録するところである。江戸を基点とする甲州道中が整備される以前にあって、この吉田に至る主要な道筋は、甲府盆地から御坂峠を越える鎌倉往還においてほかにはなかった。病身の日蓮や時宗の二祖他阿真教も、これを越え富士北麓を廻って相模を目指している。御坂峠直下、河口湖北岸に位置する川口（河口）は、やがて宿駅としての機能を高め、16世紀中葉には「道者坊」が営まれて富士を目指す道者の信仰を助けたことが知られている（『渋江家文書』『山梨県史』資料編・中世4）ほか。これが江戸時代の川口御師の活動へとつながっていったと考えられるが、その実態を明らかにする活動が、1990年代後半から盛んになった。

甲州史料調査会による古文書調査や研究報告を嚆矢に（『富士御師のいた集落』〔1998年〕、『河口湖の古文書と歴史』その2〔2005年〕など）、富士河口湖町教育委員会による古文書目録の刊行が続いた（2012年）。山梨県においても、富士山の世界文化遺産への登録（2013年）を機に〔富士山総合学術調査研究委員会〕が設置され、同山にかかわる調査研究を進める気運が高まった。同会の歴史考古民俗部会民俗班による調査は『河口集落の歴史民俗的研究』に結実したが（山梨県立博物館、2014年）、同書には天保9年（1838）の「富士登山人改帳」（本庄邦久家文書）が翻刻されている。合わせて伝わった同12年（1841）の「富士登山導者人別改帳」については、本報告書と並行して編集作業が進む『富士山』〔山梨県富士山総合学術調査研究報告書2〕の〔資料編〕に収めることができた。両書とも文書にかかわる紙幅は限られていたため、基礎的な翻刻にとどまっている。そこで本報告書において、両帳に基づき表1「川口御師の檀那所と御山参詣」を作成した。加えて檀那所の分布を示す地図を収めた。残念ながら両帳からは天保年間の情報しか得られない。その欠をおぎなうべく、表1には「旦那所江状越申候覚」（近世初頭、三浦吉明家文書）⁽¹⁾、〔川口御師檀那所一覧〕（天保以前）⁽²⁾より得られたデータを加えた。表の内容を地図に落としたものが22ページ以降の図である。

これを機会に両帳の多方面からの分析が進み、檀那所の分布に留まらず、不明とされることの多い川口御師にかかわる諸事象が明らかにされることを願ってやまない。

注

- (1) 小宮山敏和「〔史料紹介〕旦那所江状越申候覚（三浦吉明家文書）」（甲州史料調査会編『河口湖の古文書と歴史』その2、同会、2005年）。
- (2) 堀内眞「富士に集う心－表口と北口の富士信仰－」（『境界と鄙に生きる人々』〔中世の風景を読む〕3、新人物往来社、1995年）

表1 富士御師の檀那所と御山参詣

4 宮城県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
黒川郡大郷町中村					奥州仙台中村	庄蔵	1	川口改会所

5 秋田県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
由利郡大内町深沢					羽州院内金山	清蔵	1	川口改会所

7 福島県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
東白川郡矢祭町東館								

8 茨城県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
玉造町手賀								
石岡市								
筑西市蒔田								
藤代町カ								

9 栃木県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
塩谷郡高根沢町石末					下野国塩谷郡石すへ	政吉	2	

10 群馬県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
沼田市利根町日影南郷					上州沼田下美根	藤七組	4	
利根郡みなかみ町大日向								
利根郡みなかみ町小川								
利根郡みなかみ町下津								
利根郡みなかみ町布施								
沼田市中発知								
吾妻郡高山村中村					上州吾妻郡新田	平蔵	6	小河原玄番
吾妻郡中之条町伊勢町								
吾妻郡中之条町上沢渡					上州吾妻郡上沢渡	紋左衛門	5	小河原玄番
吾妻郡中之条町上沢渡カ								
吾妻郡東吾妻町植栗カ								
吾妻郡東吾妻町三島								
吾妻郡東吾妻町本宿								
安中市松井田町五科								
安中市松井田町新堀								
安中市松井田町二軒在家								
安中市松井田町上増田								
安中市松井田町下増田								
安中市松井田町土塩カ								
安中市安中								
安中市小俣					上州碓氷郡尾又	勇八組	4	川口改会所
安中市郷原					上州碓氷郡郷原	喜三郎組	4	上野坊因幡
安中市嶺								
安中市中野谷					上州碓氷郡中野屋	平蔵組	2	中村土佐介
安中市下秋間カ					上州碓氷郡秋田	格治良組	6	本庄靱負
安中市秋間								
安中市下秋間								
安中市下後閑					上州碓氷郡下後管	栄吉組	5	駒谷若狭
安中市中後閑								
妙義町下高田				高田				
甘楽郡下仁田町中小坂								
甘楽郡下仁田町下仁田					上州甘楽郡下仁田	甚右衛門組	3	本庄靱負
甘楽郡下仁田町馬山								
南牧村砥沢				西上州戸沢領				
甘楽郡南牧村大日向								
富岡市下丹生原					上州甘楽郡丹庄原	孫三郎組	6	上野坊右近

			天保 12 年 (1841)							備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
吉田行										

			天保 12 年 (1841)							備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
吉田行										

			天保 12 年 (1841)							備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
			奥州小水郡東館	良介組	3		吉田通り	小申谷伊予		

			天保 12 年 (1841)							備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
			常州南目方郡手ヶ	藤助組	5		吉田通り	上文司		
			常州新寿郡府中	文右衛門組	3		吉田通り	改所		
			常州志田郡真木田	政右衛門組	2		吉田通り	雁丸豊後		
			下総相馬郡乳千	安蔵	3			小沢伯耆		不明

			天保 12 年 (1841)							備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
			佐藤因幡							

			天保 12 年 (1841)							備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
			上州沼田下曾根	藤七組	4	中村伊勢介			胎内通り	
			上州沼田大日向	藤兵衛組	7	中村伊勢介			胎内通り	
			上州沼田小川	廣助組	2	中村伊勢介			胎内通り	
			上州沼田下津	武左衛門組	8	中村筑前			胎内通り	
			上州吾妻郡布施	惣右衛門組	5	小河原玄番			胎内通り	
			上州吾妻郡布施	又次郎組	6	中村左京			胎内通り	
			上州足利郡中法師	茂左衛門組	3	中村左兵衛			胎内通り	
		胎内行								
			上州吾妻郡伊勢町	権六組	3	小河原玄番			胎内通り	
		胎内行								
			上州吾妻郡上沢田	兼次郎組	6	小河原玄番			胎内通り	
			上州吾妻郡上沢田	瀧次郎組	1	小河原玄番			胎内通り	
			上州吾妻郡上栗原	甚右衛門組	4	小河原玄番			胎内通り	
			上州吾妻郡三島	幸右衛門組	5	本庄監物			胎内通り	
			上州吾妻郡元宿	政次郎組	2	小河原主殿			胎内通り	
			上州碓氷郡五料	藤次郎組	9	洪江掃部			胎内通り	
			上州碓氷郡新堀	彦三郎組	8	洪江掃部	吉田通り			
			上州碓氷郡鳥留	藤次組	3	洪江因幡			胎内通り	
			上州碓氷郡上増田	善八組	8	洪江掃部			胎内通り	
			上州碓氷郡下増田	惣吉組	13	洪江因幡			胎内通り	
			上州碓氷郡桐塩	駒次郎組	6	洪江掃部			胎内通り	
			上州碓氷郡安中下町	栄次郎	4	上野坊因幡			胎内通り	
			上州安中	栄兵衛組	20		吉田通り	中雁丸由太夫		
		胎内行								
		胎内行								
			上州松枝田郷原	万次郎組	5	洪江因幡			胎内通り	
			上州碓氷郡峯	多七組	6	洪江因幡			胎内通り	
		胎内行								
			上州碓氷郡中野屋	平蔵組	6	駒谷若狭			胎内通り	
		胎内行								
			上州碓氷郡秋間	宇左衛門組	3	本庄靱負			胎内通り	
			上州碓氷郡下秋間	平吉組	4	本庄靱負			胎内通り	
		胎内行								
			上州安中在下後ヶ	清五郎組	6	駒谷若狭			胎内通り	
			上州碓氷郡中五ヶ	勘蔵組	7	駒谷若狭			胎内通り	
			上州碓氷郡上中五ヶ	民蔵組	14	駒谷若狭			胎内通り	
			上州甘楽郡中小坂	小左衛門組	2	洪江因幡			胎内通り	
		胎内行								
			上州甘楽郡真山	三五郎組	12	中村但馬			胎内通り	
			上州甘楽郡南壺大日向	竹蔵組	4	本庄靱負			胎内通り	
吉田										

富岡市神成								
富岡市神原								
富岡市後賀					上州甘楽郡 5ヶ	金作組	2	改会所
甘楽郡吉井町岩崎								
甘楽郡鬼石町譲原					上州甘楽郡譲原	亀太郎組	10	
甘楽郡万場町坂井								
多野郡神流町持倉カ								
甘楽郡中里村平原カ								
甘楽郡上野村楯原								
甘楽郡上野村楯原								
藤岡市中島					上州緑野郡中島	治右衛門組	2	中村筑前
高崎市倉淵町三ノ倉								
高崎市榛名町上室田カ								
高崎市榛名町上大島								
高崎市榛名町神戸								
高崎市箕郷町善地								
高崎市箕郷町富岡								
高崎市箕郷町白川								
高崎市箕郷町箕輪								
高崎市群馬町井出								
高崎市群馬町金古				金子				
高崎市新田町				新田乗				
高崎市高崎				高崎	上州高崎御城下田町	幸助組	○高 13	
高崎市下並榎								
高崎市貝沢町				かい沢				
高崎市飯塚町				飯塚				
高崎市上中居								
高崎市下佐野町								
高崎市倉賀野町				蔵金				
高崎市東中里								
高崎市綿貫								
高崎市矢島								
高崎市萩原町				萩原				
高崎市日高町				日高				
高崎市大八木町				大屋木小八木				
高崎市南新波								
高崎市菊地町				菊地				
高崎市藤塚								
高崎市豊岡								
高崎市中豊岡カ								
高崎市乗附					上州片岡郡乗附	藤右衛門組	2	上野坊因幡
高崎市山名					上州緑野郡山名	重五郎組	2	上野坊因幡
北群馬郡子持村北牧カ								
北群馬郡子持村横堀								
渋川市小野上小野子カ					上州群馬郡尾野比	重助組	5	
渋川市小野上小野子								
渋川市渋川								
渋川市半田								
渋川市赤城町津久田								
北橋村箱田				下箱田				
前橋市富士見町小暮								
前橋市鼻毛石								
前橋市上沖								
前橋市下沖								
前橋市増田								
前橋市下佐鳥・上佐鳥					上州群馬郡佐鳥	喜三郎組	7	
前橋市元総社								
前橋市江田								
前橋市小相木					上州群馬郡庄相喜	弥兵衛組	2	
佐位郡境町島村				島村				
新田郡境町上矢島					上州新田郡上矢島	紋太郎組	6	
玉村町飯塚	飯塚							
玉村町福島	福島							
玉村町箱石	箱石							
玉村町川井	川合かし							
玉村町飯倉	飯倉							
玉村町五料	沼上							

		上州甘楽郡神成	桑右衛門組	12	三浦刑部			胎内通り	
		上州甘楽郡蚊野川	茂市組	6	三浦刑部			胎内通り	
	胎内行								
		上州甘楽郡五ヶ	伊太郎組	5	三浦刑部			胎内通り	
		上州甘楽郡岩崎	菊蔵組	2	本庄監物	吉田通り			
中雁丸由太夫									
		上州甘楽郡境	峯五郎組	2	三浦刑部			胎内通り	
		上州甘楽郡空倉	市左衛門組	6	本庄初負			胎内通り	
		上州甘楽郡屋津礼	銀蔵組	2	本庄監物	吉田通り			
		上州甘楽郡奈良原	金右衛門組	3	駒谷善大夫			胎内通り	
		上州甘楽郡寒の国(寒行)	源右衛門組	3		吉田通り	外川美濃		
	胎内行								
		上州群馬郡三ノ倉	吉兵衛組	5	本庄初負			胎内通り	
		上州群馬郡上市田	軍次郎組	4	本庄監物			胎内通り	
		上州碓氷郡上大島	富五郎組	4	渋江因幡			胎内通り	
		上州群馬郡神戸	藤吉組	13	本庄監物			胎内通り	
		上州高崎在善地	鶴松組	2	宮下加賀			胎内通り	
		上州群馬郡善地	惣兵衛(組)	4	宮下加賀			胎内通り	
		上州群馬郡富岡	金左衛門組	7	本庄監物			胎内通り	
		上州群馬郡白川	安兵衛組	5	渋江因幡			胎内通り	
		上州群馬郡三輪	駒吉組	2		吉田通り	吉田改所		
		上州群馬郡井出	藤重郎組	14	本庄監物			胎内通り	
中雁丸由太夫									
		上州群馬郡下浪	吉五郎組	4	中村左京			胎内通り	
		上州高崎在上中井	源兵衛組	12	本庄監物			胎内通り	
		上州群馬郡下佐	久蔵組	5	本庄監物			胎内通り	
		上州群馬郡中里	多蔵組	5	渋江因幡			胎内通り	
		上州群馬郡中里	馬吉組	6	本庄監物			胎内通り	
		上州群馬郡綿祇	利右衛門組	3	中村筑前			胎内通り	
		上州群馬郡矢島	吉蔵組	3			浅間坊		
		上州高崎在矢島	新右衛門組	4	本庄監物			胎内通り	
		上州群馬郡南新波	秀吉組	5	川口改所			胎内通り	
		上州碓氷郡藤塚	金蔵組	3	本庄初負			胎内通り	
		上州(碓氷郡)豊岡	文右衛門組	3	本庄監物	吉田通り			
		上州群馬郡豊岡	角次郎組	○正 26		吉田通り	中雁丸由太夫		
		上州碓氷郡中岡	秀七組	4	駒谷若狭			胎内通り	
	胎内行								
		上州片岡郡野附	吉蔵組	5	渋江因幡			胎内通り	
		上州高崎在野附	佐二郎組	3	渋江因幡			胎内通り	
	胎内行								
		上州群馬郡牧原	惣兵衛組	5	本庄監物			胎内通り	
		上州群馬郡横堀	直右衛門組	8	中村筑前			胎内通り	
		上州群馬郡横堀	和四郎組	5	中村筑前			胎内通り	
俵谷多門									
		上州群馬郡小野子	藤松組	4			俵谷多門	胎内通り	
		上州群馬郡洪川	治五右衛門組	4	本庄監物	吉田通り			
		上州群馬郡半田	与兵衛組	6	本庄監物			胎内通り	
		上州勢多郡津久田	左兵衛組	2	中村左京			胎内通り	
		上州勢多郡津久田	源十郎組	10	中村左京			胎内通り	
		上州勢多郡小暮	桑右衛門組	8	中村左京			胎内通り	
		上州勢多郡花切石	与左衛門組	2		吉田通り	小沢主水		
		上州勢多郡上奥野	政吉組	4		吉田通り	浅間坊		
		上州勢多郡下奥ノ	五兵衛組	4		吉田通り	浅間坊		
		上州勢多郡増田	武兵衛組	9		吉田通り	浅間坊		
浅間坊出雲									
		上州群馬郡本双紙	惣兵衛組	10		吉田通り	浅間坊		
		上州高崎枝	藤右衛門組	10	本庄監物			胎内通り	
中雁丸由太夫									
田辺内匠									
		上州新田郡上矢島	惣太郎組	山三 2		吉田通り	外川美濃		

	新屋敷							
玉村町樋越	西神宮							
	東神宮							
伊勢崎市伊勢崎								
伊勢崎市稲荷町	伊成山							
伊勢崎市田中島町	田中島							
伊勢崎市連取町	連取							
伊勢崎市丹良塚町	にらつ							
伊勢崎市阿弥大寺	あみたいじ							
伊勢崎市柴町カ	瀬端			柴				
伊勢崎市中町	中町							
伊勢崎市堀口カ	坂口							
伊勢崎市除ヶ町	よけ							
伊勢崎市大正寺町	大正寺							
伊勢崎市馬見塚					上州那波郡馬見塚	藤蔵組	4	
伊勢崎市長沼町	長沼							
伊勢崎市上蓮・下蓮町	□(蓮カ)沼							
伊勢崎市飯島町	飯□(島カ)							
みどり市大間々町小平					上州山田郡尾平	弥兵衛組	○正 2	
新田郡尾島町尾島				小島				
邑楽郡大泉町古海カ								
邑楽郡大泉町小泉					上州邑楽郡小泉	力蔵組	4	高橋市ノ正
邑楽郡千代田町上中森カ				東森				
邑楽郡明和村新里				仁里				

11 埼玉県

	江戸時代初期			江戸時代中期		天保9年(1838)		
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
鴻巣市大芦					同(武蔵)国足立郡大足	勘兵衛組	8	
さいたま市文蔵					武州足立郡文蔵	源兵衛組	4	
さいたま市塚本カ					武州埼玉郡塚	勇次良組	4	
川口市下青木								
蕨市塚越					武州足立郡塚越	権重郎組	5	
さいたま市八王子	八王子							
さいたま市西新井					武州足立郡荒井	弥右衛門組	5	
鴻巣市鴻巣					武州足立郡光野須	権兵衛組	6	
朝霞市根岸					武州新倉郡根岸	要五郎組	9	
入間郡越生町越生					武州入間郡今市	久右衛門	1	
比企郡吉見町北下砂					武州横見郡北下砂	亀重郎	1	
川越市高沢町	たかさわ							
比企郡小川町高見	たかみ							
川越市川越								
比企郡川島町安塚								
比企郡滑川町羽尾					武州比企郡葉尾	太郎右衛門組	2	
東松山市野本								
東松山市石橋新郷					武州比企郡金谷	岩吉組	8	
東松山市早俣					武州比企郡早又	善蔵組	4	
秩父郡皆野町大淵	大藤							
那賀郡美里村木部					武州那賀郡木部	善左衛門組	2	本庄監物
本庄市児玉町保木野								
本庄市児玉町長沖					武州児玉郡長置	伊の松組	6	
本庄市児玉町元田								
上里町嘉美立野カ					武州加美郡立根	忠兵衛組	9	大猿谷筑前
本庄市牧西								
熊谷市津田					武州熊谷在津田	文之丞組	2	
熊谷市板井篠場カ					武州熊谷在志の原	平八組	6	
深谷市本田	本田							
深谷市畠山	はたけ山							
深谷市花園町永田								
深谷市花園町飯塚								
寄居町赤浜	あかはま							
寄居町塚田	つかた							
寄居町富田	とみた							
深谷市針ヶ谷								
熊谷市原井					武州足立郡原日	仙吉組	3	
深谷市西島カ					同国同郡西江	栄助組	2	
深谷市上敷免					武州榛沢郡上敷免	仙松組	5	
深谷市矢島					武州榛沢郡矢島	瀧蔵組	7	
深谷市高島								
深谷市原郷					武州播磨郡原野郷	彦右衛門組	6	
深谷市国済寺カ					武州波田郡国沢	国八組	山3 14	
熊谷市熊谷					武州大里郡熊谷宿	要蔵組	9	
熊谷市石原								

			上州沢井郡伊勢崎	利七組	5	本庄鞠負		胎内通り	佐位郡
			上州群馬郡柴宿	林兵衛組	5	本庄監物		胎内通り	
		上原伊豆							
		中雁丸由太夫							
			上州宝来郡保海	儀兵衛組	山三 9		吉田通り	小友屋肥前	
		胎内行							

天保 12 年 (1841)										備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
	小沢和泉									
	田辺越後									
	小竹谷肥後									
			武州埼玉郡塚	新左衛門組	3		吉田通り	竹屋肥後		
			武州足立郡下青木	馬右衛門組	3		吉田通り	田辺近江		
	持山播磨									
	大雁丸大内蔵									
	小沢志摩									
	田辺撰津									
	小沢河内									
	大俵和泉									
			武州川越六軒町	与八組	4		吉田通り	小沢隠岐		
			尾 (武) 州引郡安塚	玉五郎組	7		吉田通り	小沢遠江		比企郡
	小沢河内		武州引郡野本	留七組	3		吉田通り	小沢紀伊		
	小沢志摩									
	番城谷民部									
		胎内行								
			武州児玉郡保木野	源之丞組	7		吉田通り	羽田伊勢		
	中雁丸由太夫		武州児玉郡元田	惣兵衛組	3	宮下加賀			胎内通り	
			武州半沢郡木才	伝七組	2		吉田通り	田辺主膳		
	外川能登									
	外川美濃		武州産郡本田	常次郎組	○本 8		吉田通り	田辺越後		男衾郡
			武州半沢郡長田	大助組	山三 6		吉田通り	池谷佐渡		
			武州半沢郡飯塚	武兵衛組	山三 9		吉田通り	小沢志摩		
			武州半沢郡張加屋	美之介組	山三 2		吉田通り	外川美濃		
	田辺伊賀									
	刑部采女									
	池谷佐渡									
	小沢隠岐									
			武州半沢郡高島	平蔵組	山三 4			吉田改所		
	田辺主膳									
	外川美濃									
	外川美濃									
			武州熊谷宿	織右衛門組	山三 5		吉田通り	刑部采女		
			武州大里郡石原	吉之丞組	山三 2		吉田通り	外川美濃		

熊谷市村岡								
熊谷市原島					武州大里郡原島	左兵衛組	3	
熊谷市三ヶ尻カ								
熊谷市上奈良								
熊谷市小曾根					武州埼玉郡小曾根	峯五郎組	5	
熊谷市下川上								
さいたま市岩槻区斎藤新田カ								

12 千葉県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
印旛郡栄町								
旭市見広								
山武市松尾町本柏					上総国武射郡本柏	時清院	1	川口改会所
夷隅郡大多喜町 (今津朝山村)								
富津市大堀カ (不明)					上総国長柄郡浮屠	善六組	2	

13 東京都

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
東京都千代田区					江戸松本様御家中	安部源次郎組	3	本庄監物
千代田区神田岩本町					江戸神田岩井町	新井一斎	1	高橋市ノ正
千代田区東神田								
千代田区外神田								
中央区日本橋堀留					江戸堀留2丁目	徳次良組	4	
港区田町								
台東区浅草								
板橋区蓮根								
北区浮間					武州足立郡宇き間	源蔵組	3	
足立区西新井								
八王子市八王子								

14 神奈川県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
川崎市川崎区大師河原								
厚木市飯山								

15 新潟県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
糸魚川市大野								

16 富山県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
富山市								

18 福井県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
越前市余川町カ								

19 山梨県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
山梨市三富徳和								
山梨市牧丘町袖口					同国山梨郡曾間口	七兵衛組	5	早川宮内
山梨市牧丘町室伏					甲州山梨郡茂ろふし	吉左衛門	1	中村五太夫
					甲州山梨郡ぬろふし	武助組	3	中村五太夫
					甲州山梨郡ぬろふし	重右衛門組	2	中村五太夫
山梨市牧丘町西府下					甲州山梨郡西府下	甚蔵組	2	中村筑前
山梨市牧丘町西府					甲州山梨郡西府	重右衛門	1	中村筑前
山梨市牧丘町北原・柳平					同国東郡西府北原	伝右衛門組	3	
笛吹市春日居町熊野堂	熊野堂							
甲州市勝沼町勝沼					同国山梨郡勝沼宿	甚右衛門組	2	
甲州市勝沼町綿塚								
甲州市勝沼町山								
甲州市勝沼町小佐手								
甲州市勝沼町葦山								

			武州大里郡村岡	鉄之助組	5		吉田通り	小友屋肥前		
	刑部采女									
			武州波田羅郡国沢	国八組	4		吉田通り	外川美濃		
	外川美濃		武州田羅郡上奈良	外記	1	川口改所			胎内通り	
			武州埼玉郡下川上	平右衛門組	4		吉田通り	竹屋肥後		
			下総国葛飾郡齋藤	庄助組	10			田辺伊賀		

天保 12 年 (1841)										備考
吉田経由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田経由	吉田御師	胎内通り	
			下総国院場郡深馬	助左衛門組	2		吉田通り	外川筑後		
			下総国宇上郡三広	左衛門組	2		吉田通り	雁丸豊後		
吉田行										
			上総国夷隅郡大滝城下	京蔵組	3		吉田通り	田辺近江		
			上総国今須	平兵衛組	3			田辺近江		
			上総国鈴々郡大堀	藤右衛門組	5		吉田通り	吉田改所		
	小猿谷伊予									

天保 12 年 (1841)										備考
吉田経由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田経由	吉田御師	胎内通り	
		胎内行								
			武州戸島郡外桜田	龍山	1	中村備後			胎内通り	
		胎内行								
			江戸豊島町	乙吉	1		吉田通り	塩谷平内左衛門		
			江戸外神田	平次郎組	3		吉田通り	小申谷伊予		
田辺和泉										
			江戸田町	藤太郎	1		吉田通り	浅間坊		
			江戸浅草	遷宗組	3		吉田通り	塩谷平内左衛門		
			武州豊島郡根葉	善次郎組	5		吉田通り	小沢遠江		
牧田但馬										
			武州足立郡新井宿	助次郎組	2		吉田通り	大雁丸筑前		
			武州八王子	運吉組	9		吉田通り	外川美濃		

天保 12 年 (1841)										備考
吉田経由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田経由	吉田御師	胎内通り	
			武州大師河原	作重郎組	4		吉田通り	小沢遠江		
			相州愛甲郡飯山	吉右衛門組	10		吉田通り	吉田改所		

天保 12 年 (1841)										備考
吉田経由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田経由	吉田御師	胎内通り	
			越後国杭郡大野	弥次兵衛	2		吉田通り	吉田改所		

天保 12 年 (1841)										備考
吉田経由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田経由	吉田御師	胎内通り	
			越中富山	伝介組	4		吉田通り	小林岩尾		

天保 12 年 (1841)										備考
吉田経由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田経由	吉田御師	胎内通り	
			越前国今太郡横川	新兵衛組	2		吉田通り	吉田改所		

天保 12 年 (1841)										備考
吉田経由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田経由	吉田御師	胎内通り	
			甲州山梨郡徳和	定兵衛組	3		吉田通り	池谷備後		
			甲州山梨郡徳和	久右衛門組	2	高橋豊後			胎内通り	
吉田行										
		胎内行								
		胎内行								
吉田行										
		胎内行	甲州山梨郡室伏	五兵衛組	9		吉田通り	吉田改所		大山
		胎内行								
	同苗近江									
	田辺近江									
			甲州山梨郡勝沼宿	勘弥組	3		吉田通り	吉田改所		
			甲州山梨郡綿塚	治郎吉組	2	小河原修理			胎内通り	
			甲州山梨郡山	政右衛門組	2		吉田通り	吉田改所		
			甲州山梨郡小佐手	金右衛門	1	中村奎之進			胎内通り	
			甲州山梨郡菱山	平兵衛組	2	中村備後	吉田通り			

甲州市塩山於曾	おそ	早川半左衛門(川口)						
甲州市塩山赤尾				甲州山梨郡北赤尾	安兵衛	1	中村備後	
甲州市塩山牛奥	うしをく							
甲州市塩山上井尻				甲州山梨郡井尻	才兵衛組組	6	笠井内蔵之介	
甲州市塩山竹森				甲州山梨郡下桐	要兵衛組	4	宮下讃岐	
甲州市塩山中萩原				甲州山梨郡中萩原	定兵衛組	4	宮下讃岐	
甲州市塩山萩原								
山梨市正徳寺				甲州山梨郡正徳寺	六右衛門	6		
山梨市落合								
山梨市万力	万力村							
山梨市北								
山梨市北・南				甲州山梨郡東八幡	半右衛門	3	中村備後	
山梨市市川								
山梨市切差								
山梨市小原	小原							
山梨市三ヶ所				甲州山梨郡五屋敷	伝十郎	2	本庄監物	
山梨市東後屋敷				甲州山梨郡五屋敷	五左衛門組	8		
山梨市上神内川								
山梨市上・下石森								
山梨市大野				甲州山梨郡大野	周蔵	1	小河原主殿	
山梨市歌田								
甲府市				甲州甲府勤番本多様御家中	金蔵組	3		
甲府市(元三日町)				甲府御城下本三日町	久右衛門組	3		
甲府市(新青沼町)								
甲府市(豎近習町)								
甲府市(柳町二丁目)								
甲府市(柳町)								
甲府市(魚町)								
甲府市(魚町五丁目)								
甲府市(工町力)								
甲府市(工町)								
甲府市(八日町)								
甲府市(金手町)								
甲府市(一条町)								
甲府市(緑町)				甲州御城下緑町	太郎右衛門	3		
甲府市								
甲府市古府中町				甲州山梨郡古府中日影組	繁兵衛	2	馬場中務	
甲府市塩部								
甲府市東光寺				甲州山梨郡東光寺	喜平次	1		
甲府市川田								
甲府市西高橋								
甲府市蓬沢	よもぎ沢							
甲府市里吉				甲州山梨郡里由	又右衛門組	10		
甲府市国玉				甲州山梨郡九田間	真兵衛組	11		
甲府市下鍛冶屋								
甲府市上今井								
甲府市石田				甲州巨摩郡石田	基右衛門	3	小河原修理	
甲府市上石田								
甲府市下石田								
甲府市上小河原				甲州巨摩郡上小河原	五良右衛門	3		
甲府市大里								
甲府市高室								
甲府市中								
甲府市猪狩				甲州北山筋伊苺	茂右衛門	1		
甲府市草鹿沢								
笛吹市石和町				甲州巨摩郡石和宿	忠七	3	川口改会所	
笛吹市石和町市部				甲州石和御陣屋	相畑長八組	2	中村左近	
笛吹市石和町川中島				甲州八代郡川中島	五良右衛門組	4	中村雅楽	

			甲州山梨郡葭山	富作組	2	中村備後			胎内通り	
										檀那売買証文
吉田行										
		胎内行								
			甲州山梨郡中井尻	弥吉組	2		吉田通り	吉田改所		
吉田行										
吉田行			甲州山梨郡萩原	国蔵組	4		吉田通り	吉田改所		
			甲州山梨郡萩原	幸太郎組	3	宮下讃岐	吉田通り			
吉田	佐藤式部									
			甲州山梨郡正徳寺	両兵衛組	2	中村備後			胎内通り	
			甲州山梨郡東落合	吉右衛門組	3		吉田通り	吉田改所		
			甲州山梨郡八幡北	庄蔵組	3		吉田通り	吉田改所		
			甲州山梨郡八幡	両助(組)	10		吉田通り	吉田改所		
吉田行										
			甲州山梨郡上市川	周兵衛組	8		吉田通り	吉田改所		
			甲州山梨郡切差	与四郎	1		吉田通り	田辺近江		
			甲州山梨郡小原	友右衛門組	3		吉田通り	小林岩尾		
			甲州山梨郡小原	鉄五郎組	2		吉田通り	吉田改所		
吉田行										
	田辺近江									
			甲州山梨郡東後屋敷	政右衛門組	6		吉田通り	吉田改所		
			甲州山梨郡上神内川	吉右衛門組	2		吉田通り	吉田改所		
			甲州山梨郡神内川	所右衛門組	2		吉田通り	吉田改所		
			甲州山梨郡石森	米太郎組	2		吉田通り	吉田改所		
吉田行										
			甲州山梨郡歌田	庄右衛門組	3		吉田通り	吉田改所		
			甲府御城代	家来嘉十郎	1		吉田通り	浅間坊		
	渡辺丹後									
			甲府勤番	組下小者	2		吉田通り	上原能登		
	大雁丸大内蔵									
			甲府青沼町	治兵衛組	3		吉田通り	塩谷平内左衛門		
			甲府立金次	八右衛門組	6		吉田通り	吉田改所		
			甲府柳町式丁目	茂介組	3		吉田通り	吉田改所		
			甲府柳町	富蔵	1		吉田通り	吉田改所		
			甲府魚町	甚八組	4		吉田通り	田辺近江		
			甲府魚町五丁目	多助組	3		吉田通り	吉田改所		
			甲州巨摩郡内匠	喜平次組	5		吉田通り	田辺近江		
			甲府工町	治郎右衛門組	4		吉田通り	吉田改所		
			甲府八日町	松蔵	1		吉田通り	吉田改所		
			甲府金子町	十良平組	2		吉田通り	渡辺安房		
			甲府一条町	常兵衛組	2		吉田通り	吉田改所		
吉田行	改会所									
			甲府緑町	仁助組	2		吉田通り	小林山城		
			甲府緑町	庄兵衛組	3		吉田通り	塩谷平内左衛門		
			甲府緑町	彦兵衛組	3		吉田通り	羽田長門		
			甲府	善助組	5		吉田通り	小林岩尾		
		胎内行								
			甲州山梨郡塩部	安兵衛組			吉田通り	上原伊豆		
	田辺近江									
			甲州山梨郡川田	多右衛門組	2	中村備後			胎内通り	
			甲州八代郡西高橋	安兵衛組	3		吉田通り	田辺近江		
	田辺近江									
			甲州山梨郡里吉	政右衛門組	2		吉田通り	田辺近江		
			甲州巨摩郡里吉	源兵衛組	11		吉田通り	田辺近江		
	田辺近江									
			甲州山梨郡下鍛冶屋	善兵衛組	6		吉田通り	外川大膳		
			甲州巨摩郡上今井	政蔵組	3	中村備後	吉田通り			
吉田行										
			甲州巨摩郡上石田	次郎右衛門組	3	小河原修理			胎内通り	
			甲州下石田	左兵衛組	○文 3		吉田通り	田辺近江		
	田辺近江									
			甲州巨摩郡二日市場	乙蔵組	3	中村備後	吉田通り			
			甲州巨摩郡高室	吉蔵	1	浅江掃部			胎内通り	
			甲州巨摩郡中	藤兵衛組	2		吉田通り	吉田改所		
	田辺近江									
			甲州巨摩郡猪狩	源五右衛門組	2	高橋主馬			胎内通り	
			甲州巨摩郡草鹿沢	左市郎組	5	高橋市正			胎内通り	
吉田行										
			甲州八代郡石和宿	法泉寺僧	2	中村備後			胎内通り	
吉田行										
			甲州巨摩郡石和御陣屋	十助組	2		吉田通り		大雁丸大内蔵	
吉田行										

笛吹市石和町唐柏									
笛吹市石和町松本					甲州中郡松本	碁右衛門組	4	高橋和泉	
笛吹市一宮町一ノ宮					甲州八代郡一ノ宮	古屋因幡組	2	馬場司馬介	
笛吹市一宮町末木					甲州東郡末木	熊蔵組	2	中村内蔵介	
笛吹市一宮町下矢作									
笛吹市一宮町国分									
笛吹市一宮町田中									
笛吹市一宮町上矢作									
笛吹市一宮町市之蔵									
笛吹市一宮町東新居					甲州八代郡東荒井	六郎左衛門組	4		
笛吹市御坂町井之上									
笛吹市御坂町竹居					甲州八代郡竹井	一作組	2	中村備後	
笛吹市御坂町下黒駒					甲州八代郡下黒駒	繁蔵組	7	三浦刑部	
笛吹市八代町北									
笛吹市八代町南									
笛吹市八代町増利					甲州巨摩郡増利	九兵衛	1	野沢藤馬	
笛吹市八代町永井									
笛吹市境川町藤笠									
甲府市下曾根					甲州八代郡下曾根	倉蔵組	4	小河原永太夫	
中央市淺利					甲州八代郡淺利	又八組	3	中村備後	
中央市大鳥居					甲州八代郡大鳥居	新左衛門組	10	小河原永太夫	
西八代郡市川三郷町大塚					甲州八代郡大塚	彦八組	10	川口改会所	
西八代郡市川三郷町市川大門	市川大門				甲州八代郡市川町	碁五兵衛組	○仙 7		
					甲州八代郡市川町	龍八組	○仙 6		
					甲州八代郡市川町	勘平次	1		
西八代郡市川三郷町高田	高田								
西八代郡市川三郷町黒沢	黒沢								
西八代郡市川三郷町楠南	楠南								
西八代郡市川三郷町鴨狩津向	鴨狩津向								
西八代郡市川三郷町落居	落居滝沢								
南巨摩郡身延町下部	下部								
南巨摩郡身延町上之平	上野平								
南巨摩郡身延町常葉	常葉								
南巨摩郡身延町杉山	杉山								
南巨摩郡身延町三沢	深沢								
南巨摩郡身延町芝草	芝草								
北杜市須玉町境之沢									
北杜市須玉町若神子	若神子								
北杜市須玉町大豆生田	大豆生田				甲州逸見郡間蒔田	佐七組	5	三浦外記	
北杜市須玉町大蔵	大蔵								
北杜市須玉町比志									
北杜市須玉町小尾									
北杜市明野町下神取	下神取				甲州巨摩郡下勤鳥	碁右衛門	1	三浦外記	
北杜市明野町上神取	上神取								
北杜市明野町浅尾	浅尾								
北杜市明野町浅尾新田					甲州浅尾新田	重右衛門	1	本庄監物	
北杜市明野町上手	上手				甲州逸見筋上出	新左衛門組	2	三浦外記	
北杜市高根町小池	小池								
北杜市高根町蔵原	蔵原				甲州巨摩郡蔵原	徳右衛門組	7		
北杜市高根町村山西割	西割								
	宮地								
北杜市高根町村山東割	東割								
北杜市高根町箕輪	箕輪								
北杜市高根町箕輪新町	箕輪新町								
北杜市高根町村山北割	北割								
北杜市高根町長沢					甲州巨摩郡長沢	多兵衛組	3	中村備後	
北杜市大泉町谷戸					甲州巨摩郡谷戸	源治郎組	3		
					甲州巨摩郡屋戸	栄兵衛組	5	高橋市ノ正	
北杜市大泉町西井出					同国逸見筋西井出	与右衛門組	○文 4		
北杜市長坂町白井沢									
北杜市白州町台ヶ原									
甲斐市宇津谷					甲州巨摩郡宇津谷	重吉組	4	高橋和泉	
甲斐市菖蒲沢	菖蒲沢								
甲斐市竜地	竜地								
韮崎市韮崎					同国巨摩郡韮崎宿	銀兵衛組	○文 10		
					甲州巨摩郡韮崎宿	六兵衛組	5		

					甲州巨摩郡葦崎宿	半兵衛組	2	
					甲州西郡葦崎宿	茂兵衛組	4	
葦崎市三ツ沢								
葦崎市穂坂町長久保	長久保							
葦崎市穂坂町三之蔵					甲州逸見筋広城(村)	孫右衛門組	2	
葦崎市八山								
葦崎市上円井								
葦崎市中条中割カ					甲州巨摩郡甘利郷中割	安兵衛	3	中村内蔵介
葦崎市中条中割								
葦崎市中条中割カ					甲州巨摩郡甘利郷下割	三右衛門組	4	中村備後
葦崎市若尾新田								
葦崎市中条東割					同国武川筋東割	弥兵衛組	3	中村内蔵介
葦崎市中条南割								
甲斐市島上条								
甲斐市境					同国巨摩郡境	繁蔵	1	中村雅楽
甲斐市牛匂	牛匂							
甲斐市吉沢								
甲斐市打返								
甲斐市神戸								
甲斐市下福沢								
甲斐市万歳					甲州巨摩郡万歳	茂吉	3	中村備後
甲斐市西八幡								
甲斐市玉川								
中巨摩郡昭和町加東中島								
中巨摩郡昭和町飯喰								
中央市井之口								
中央市下河東					同国巨摩郡下加東	定兵衛組	3	
南アルプス市六科								
南アルプス市高砂					同国巨摩郡高砂	惣右衛門	1	
南アルプス市今諏訪								
南アルプス市西野					同国巨摩郡西野	孫兵衛組	4	
					甲州巨摩郡西野	松兵衛組	8	
南アルプス市上八田					甲州巨摩郡上八田	平助組	2	
南アルプス市上八田								
南アルプス市在家塚					甲州巨摩郡在家塚	忠介組	5	
					同国同郡在家塚	先達京行	1	
					甲州西郡在家塚	文学院組	2	川口改会所
南アルプス市加賀美					甲州巨摩郡加々美	伝右衛門組	3	駒谷右近
南アルプス市南湖								
南アルプス市江原								
南アルプス市湯沢					同国巨摩郡湯沢	新吉組	4	善応寺
南アルプス市吉田					甲州巨摩郡吉田	要右衛門組	3	善応寺
南アルプス市十五所								
南アルプス市山寺								
南アルプス市平岡								
南アルプス市芦安芦倉					甲州武川筋足倉	奥右衛門	1	中村内蔵介
南巨摩郡富士川町鳥屋	鳥屋							
南巨摩郡富士川町箱原	箱原							
南巨摩郡身延町西島	西島							
南巨摩郡身延町大塩	大塩							
南巨摩郡身延町手打沢	手打沢							
南巨摩郡身延町切石	切石							
南巨摩郡身延町八日市場	八日市場							
南巨摩郡身延町古長谷	古長谷							
南巨摩郡身延町宮木	宮木							
南巨摩郡早川町早川	早川							
南巨摩郡早川町新倉	新倉							
南巨摩郡身延町帯金	帯金							

20 長野県

	江戸時代初期			江戸時代中期		天保9年(1838)		
	檀那所	檀那	御師	檀那所	檀那(組)	人数	河口御師	
南佐久郡小海町豊里								
南佐久郡小海町東馬流								
南佐久郡佐久穂町海瀬								

佐久市上小田切								
佐久市湯原カ								
佐久市入沢								
佐久市岩村田								
佐久市安原カ								
佐久市中込下中込カ								
佐久市平賀								
佐久市大沢								
北佐久郡軽井沢町中軽井沢								
小諸市山浦								
小諸市御影								
東御市根津								
上田市真田								
上田市傍陽								
上田市長瀬								
上田市長瀬								
上田市海野町								
					信州小島郡上田	七右衛門組	7	川口改会所
上田市御岳堂								
上田市中丸子								
小島郡武石村武石								
上田市殿城■								
上田市古里								
諏訪郡下諏訪町					信州諏訪郡下諏方	万蔵	5	中村伊勢
諏訪郡下諏訪町高木								
岡谷市川岸鮎沢								
諏訪市元町								
諏訪市四賀桑原								
諏訪市飯島								
					同国同郡飯島	□之丞組	3	中村左近
諏訪市中洲中金子								
茅野市栗沢					信州諏方郡栗沢	開行組	○谷 3	
上伊那郡箕輪町中曾根								
上伊那郡中川村大草								
上伊那郡中川村片桐田島					信州中伊那郡但馬	幸右衛門組	2	大額谷宮内
上伊那郡高遠町								
上伊那郡高遠町中条								
伊那市市之瀬								
伊那市西箕輪大泉新田								
伊那市美篁上川手								
伊那市美篁笠原								
伊那市美篁南割								
下伊那郡高森町市田								
飯田市上郷飯沼カ								
下伊那郡泰阜村田元								
下伊那郡豊丘村田村								
下伊那郡豊丘村河野								
下伊那郡大鹿村大河原								
飯田市和田								
飯田市本町								
					信州飯田伝馬町	伊八組	○鳩 11	
飯田市座光寺								
飯田市虎岩								
	糞川	三浦						
	奈良井							
木曾郡木祖村藪原	藪原							
木曾郡木曾町日義	宮越							
木曾郡福島町伊谷カ	伊谷				信州福島在美夜	徳左衛門組	2	川口改会所
木曾郡福島町	福島							
木曾郡木曾町西野	西野							
木曾郡木曾町三岳合戸	合戸							
木曾郡木曾町三岳黒沢	黒沢							
木曾郡上松町	上松				信州木曾上松	吉右衛門組	22	川口改会所
					信州木曾相松	伊右衛門組	12	川口改会所
木曾郡大桑村須原	須原							

			信州佐久郡上小田切	市松組	3	駒谷善太夫	吉田通り			
			信州佐久郡矢原	駒吉組	2	駒谷善太夫				胎内通り
			信州佐久郡入沢	又次郎	9	三浦刑部				胎内通り
			信州佐久郡岩村本町	清兵衛組	9	中村伊勢				胎内通り
			信州佐久郡江部	茂左衛門組	4	本庄鞠負				胎内通り
			信州佐久郡下中	勇右衛門組	3	三浦刑部	吉田通り			
			信州佐久郡平賀	明行院組	6	本庄鞠負				胎内通り
			信州佐久郡平賀	大蔵組	3	本庄鞠負				胎内通り
			信州佐久郡大沢	市左衛門組	7	高橋日向				胎内通り
			信州佐久郡香掛宿	金兵衛	1	渋江掃部				胎内通り
			信州佐久郡山浦	米次郎組	4	駒谷善太夫	吉田通り			
			信州佐久郡山浦	惣左衛門組	2	駒谷善太夫				胎内通り
			信州佐久郡御影御陣屋	小者庄介	1	中村左京				胎内通り
			信州小県郡根津	浅蔵	2	中村備後				胎内通り
			信州上田在真田	長右衛門組	7		吉田通り	吉田改所		
			信州小方郡軽沢宿	庄助組	2		吉田通り	吉田改所		
			信州上田在長瀬	定五郎組	○鳩 7		吉田通り	小沢遠江		
			信州少方郡長瀬	久兵衛組	6	大黒谷外記	吉田通り			
			信州上田在雲野	嘉平次	2	申谷内記				胎内通り
吉田行										
			信州上田本町	利兵衛組	4	高橋日向				胎内通り
			信州上田本町	左兵衛組	3		吉田通り	小沢遠江		
			信州上田本町	定五郎組	3		吉田通り	播城谷民部		
			信州小方郡上田本町	小右衛門組	6		吉田通り	小沢遠江		
			信州上田鍛冶町	市兵衛組	8		吉田通り	大雁丸筑前		
			信州小方郡御嶽堂	幸吉組	12	高橋日向				胎内通り
			信州小方郡中丸子	重右衛門組	3		吉田通り	羽田長門		
			信州上田在	周吉組	2	高橋日向				胎内通り
			信州小方郡矢沢	藤吉組	2		吉田通り	吉田改所		
			信州上田在笹井	小左衛門組	5	川口改所				胎内通り
吉田行										
			信州諏方郡高木	仁兵衛組	7	大俵大内蔵				
			信州諏方郡鮎沢	義右衛門組	12	中村図書				胎内通り
			信州上諏方町	平助組	5	中村左近				胎内通り
			信州上諏方郡桑原町	与平組	3	中村左近				胎内通り
			信州諏方郡飯島	岩吉	14	中村大進				胎内通り
		胎内行								
			信州諏方郡中金子	金太郎組	27	渋江因幡				胎内通り
田辺伊賀										
			信州諏方郡粟沢	開行組	○谷 9		吉田通り	田辺伊賀		
			信州伊奈郡中曾根	金左衛門組	4	中村志摩				胎内通り
			信州伊奈郡大草	佐七組	5	宮下信濃				胎内通り
		胎内行	信州伊奈郡大草	式三郎組	8	宮下信濃				胎内通り
			信州高遠古町	八郎組	1	駒谷若狭				胎内通り
			信州高遠本町	彦兵衛組	9		吉田通り	吉田改所		
			信州伊奈郡上中条	作右衛門組	8	駒谷豊後				胎内通り
			信州伊奈郡柏尾	彦四郎組	6	宮下信濃				胎内通り
			信州伊奈郡大泉新田	紋蔵組	3	駒谷若狭				胎内通り
			信州高遠上川	喜惣治	1	高橋市正	吉田通り			
			信州高遠笠原	亀蔵組	3	駒谷若狭	吉田通り			
			信州高遠在人市場	斧右衛門	1	高橋市正	吉田通り			
			信州伊奈郡市田	徳重郎組	4		吉田通り	田辺近江		
			信州伊奈郡飯野	文左衛門組	4	宮下左司馬				胎内通り
			信州伊奈郡田元	新右衛門	1		吉田通り	吉田改所		
			信州飯田在田	両七組	17	大額谷宮内				胎内通り
			信州伊奈郡川野	九右衛門組	8	中村左門				胎内通り
			信州伊奈郡大川原	善六組	2	宮下信濃				胎内通り
			信州伊奈郡和田小駒場	新次郎組	11		吉田通り	小沢伯耆		
			信州伊奈郡飯田本町	五兵衛組	9		吉田通り	小沢遠江		
			信州伊奈郡飯田知久町	源次郎組	○鳩 3	大額谷宮内				胎内通り
小沢伯耆										
			信州伊奈郡座光寺	六左衛門組	3	大額谷宮内				胎内通り
			信州伊奈郡黄岩	助次郎組	4	宮下信濃				胎内通り
吉田行										
吉田行										
吉田行										
			信州木曾上ヶ松	善介組	7	宮下讃岐				胎内通り

木曾郡大桑村須原伊奈川								
木曾郡大桑村野尻	野尻							
東筑摩郡筑北村坂北仁熊								
東筑摩郡本城村東条				信州松本在東条	孫蔵組	2	川口改会所	
東筑摩郡生坂村宇留賀				信州安曇郡宇留川	兼松	1	貴家敦馬	
安曇野市中川手塔ノ原				信州筑摩郡藤野原	清吉組	2	高橋市ノ正	
松本市				信州松本城下内	勘蔵組	○鳩 22		
松本市神田				信州松本在神田	初右衛門組	3	大俵大内蔵	
松本市中山壙原								
松本市島内高松								
松本市岡田岡田町				信州筑摩郡岡田	吉蔵組	3	大俵大内蔵	
松本市今井				信州松本在下今井	儀兵衛組	2	大俵大内蔵	
北安曇郡小谷村中谷カ								
北安曇郡池田町								
大町市平中綱								
大町市大町								
千曲市新田								
千曲市森								
長野市七二会瀬脇飯盛カ								
長野市七二会橋詰								
長野市篠ノ井山布施								
長野市松代								
長野市松代町東条	(皆神山)	(修験)勝仙院						
須坂市高梨								
中野市七瀬				信州高井郡七々瀬	平左衛門組	2	中村筑前	
中野市中野								
更級郡信州新町鹿谷				信州更級郡加谷	与右衛門組	3	貴家助太夫	
北高井郡栄村北信横倉								

21 岐阜県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
(不明)					濃州高見(各務カ)郡入間	藤七組	4	中村備後
加茂郡白川町佐見								
可児郡御嵩町御嵩	御嵩							
	送木							
	いじり							
	中切							
	三さの							
可児市	くつい							
多治見市池田町	池田							
多治見市大原町	大原							
	小田							
多治見市笠原町	笠原							
土岐市泉町大富	大とび							
土岐市土岐津町高山	高山							
瑞浪市土岐津町土岐口	土岐口							
土岐市妻木町	妻木							
土岐市駄知町	だち							
土岐市肥田町肥田	ひだ							
土岐市肥田町浅野	浅野							
土岐市泉町河合	川合							
	下山田							
	神野							
	一日市場							
瑞浪市明世町月吉	月吉							
瑞浪市日吉町	日吉							
	上平							
惠那市竹折	竹折							
惠那市竹並町藤	藤							

22 静岡県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
静岡市牛妻								
(不明)								
(不明)								
掛川市上張					遠州掛川在揚張	政右衛門組	4	川口改会所
浜松市天竜区水窪町奥領家西浦					遠州周知郡西浦	栄吉	3	
浜松市白鳥					遠州豊田郡白鳥	桂蔵組	4	

23 愛知県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
愛知郡東郷町諸輪								
名古屋市					尾州殿御家中	森川軍次良	1	
名古屋市中区丸の内					尾州名古屋力筋三丁目	元五郎	1	川口改会所
春日井市上条								
春日井市出川町	出川							
春日井市気喰町	久喜							
春日井市外之原町	外原							
小牧市間々原新田								
知多郡阿久比町矢高								
知多郡東浦町緒川								
知多郡東浦町生路								
知多市八幡カ					尾州知田郡平本	豊蔵	32	
知多市新舞子								
常滑市大野町								
常滑市多屋町								
常滑市常滑								
常滑市古場								
半田市成岩								
半田市神田町								
半田市三ツ池町					尾州知田郡水沢	久吉	2	川口改会所
刈谷市元町					三州青海郡元苅屋	清七組	3	
幡豆郡吉良町吉田								
西尾市寺津町								
西尾市道面記町					三州幡豆郡道面喜	善左衛門組	3	川口改会所
豊田市岩倉町								
北設楽郡豊根村三沢					三州志多郡粟世	市太夫	3	宮下信濃
新城市須長					三州設楽郡須永	為吉組	2	川口改会所
豊川市長沢								
豊川市牛久保								
蒲郡市三谷町								

24 三重県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
松阪市保津町								

25 滋賀県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
蒲生郡日野町西生								

27 京都府

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
京都市								
宮津市日置					丹後国与佐郡日置	兵右衛門	1	川口改会所

29 兵庫県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
出石郡出石町					但馬国仙石御家中	桜井良蔵組	3	

34 岡山県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
真庭市法界寺								

42 佐賀県

	江戸時代初期			江戸時代中期	天保9年(1838)			
	檀那所	檀那	御師		檀那所	檀那(組)	人数	河口御師
佐賀市八戸					肥州室郡八子	弁助組	2	

天保 12 年 (1841)										備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
			尾州羽地郡諸川	彦重郎組	4	中村備後			胎内通り	愛知郡
	田辺伊賀									
吉田行			尾州名古屋	次助組	4		吉田通り	小沢伯耆		
			尾州名古屋本町	儀兵衛組	3		吉田通り	大文字長門		
			尾州名古屋小町丁	半七組	2		吉田通り	小林山城		
			尾州春日井郡上原	藤蔵組	2		吉田通り	吉田改所		
			尾州春日井郡駒原新田	両右衛門組	2		吉田通り	小沢遠江		
			尾州知田郡高岡	弥兵衛組	6	本庄監物			胎内通り	
			尾州知田郡緒川	彦蔵	6			前田撰津附		
			尾州知田郡幾地	為介組	4	中村備後			胎内通り	
	梅谷庄太夫									
			尾州知田郡杉原	五郎左衛門	23		吉田通り	田辺近江		
			尾州知田郡大野	庄右衛門組	3	中村備後			胎内通り	
			尾州知田郡絶	善六組	11	早川多膳			胎内通り	
			尾州知田郡戸子撫手	万蔵組	24		吉田通り	田辺近江		
			尾州知田郡奥条	源六組	15		吉田通り	田辺近江		
			三州知田郡小場	定次郎組	2		吉田通り	田辺和泉		
			尾州知田郡成岩	次兵衛組	8		吉田通り	田辺遠近		
			尾州知田郡官田	長兵衛組	11		吉田通り	小沢遠江		
		胎内行								
	田辺近江									
			三州春郡吉田	大吉組	14		吉田通り	上文字		
			三州羽津郡寺津	松五郎組	5		吉田通り	小菊駿河		
吉田行										
			三州鴨郡岩倉	九蔵組	2		吉田通り	吉田改所		
吉田行										
吉田行										
			三州保井郡長沢	伝右衛門組	6		吉田通り	吉田改所		
			三州深井郡牛久保	長四郎組	2		吉田通り	小沢遠江		
			三州深井郡三谷	権右衛門組	9		吉田通り	田辺近江		

天保 12 年 (1841)										備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
			勢州飯野郡深津	才之助組	28		吉田通り	吉田会所		

天保 12 年 (1841)										備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
			江州鴨郡西生	才次郎	2		吉田通り	田辺近江		

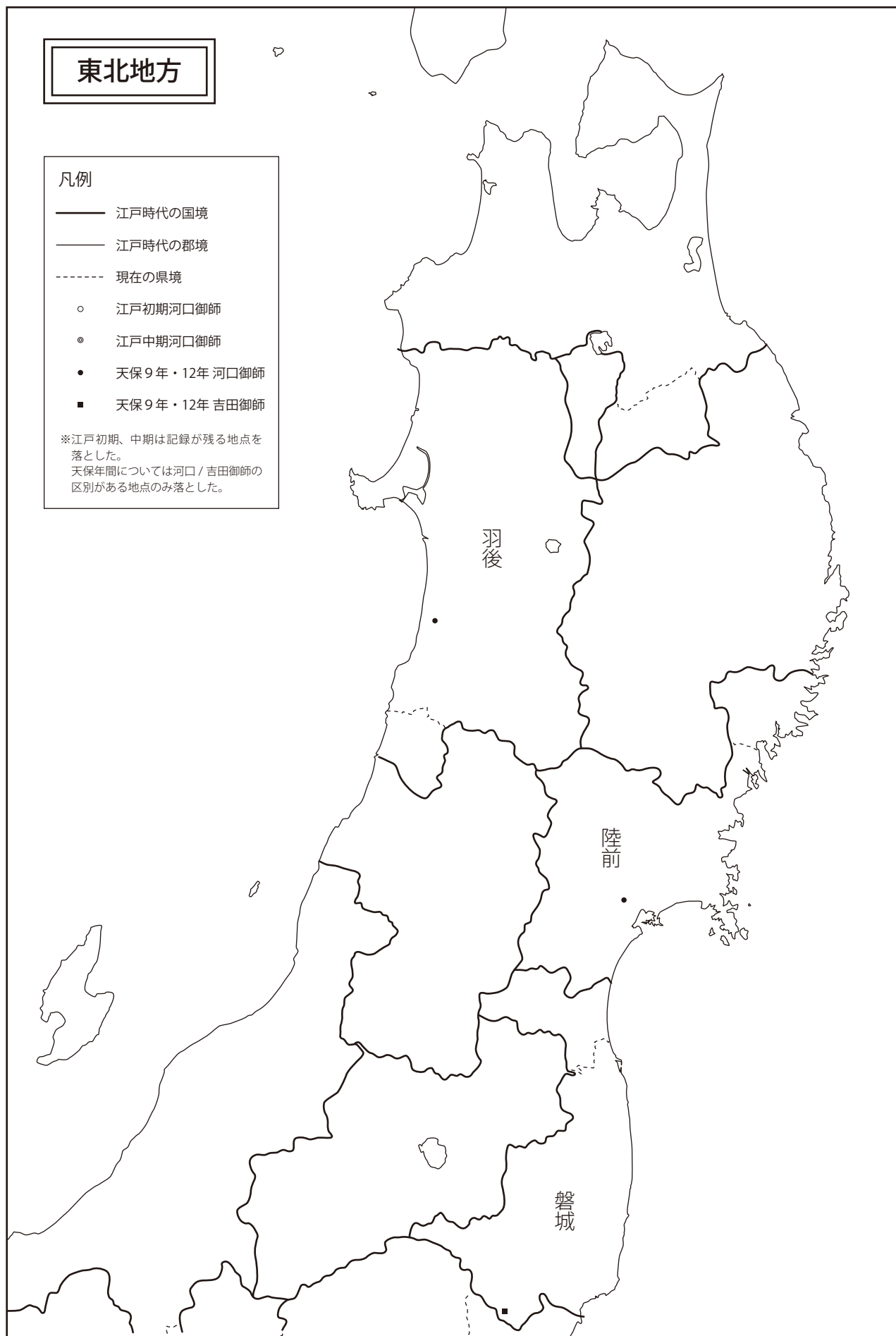
天保 12 年 (1841)										備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
			京都利生院	御宮付	○鳩 31		吉田通り	小沢伯耆		
吉田行										

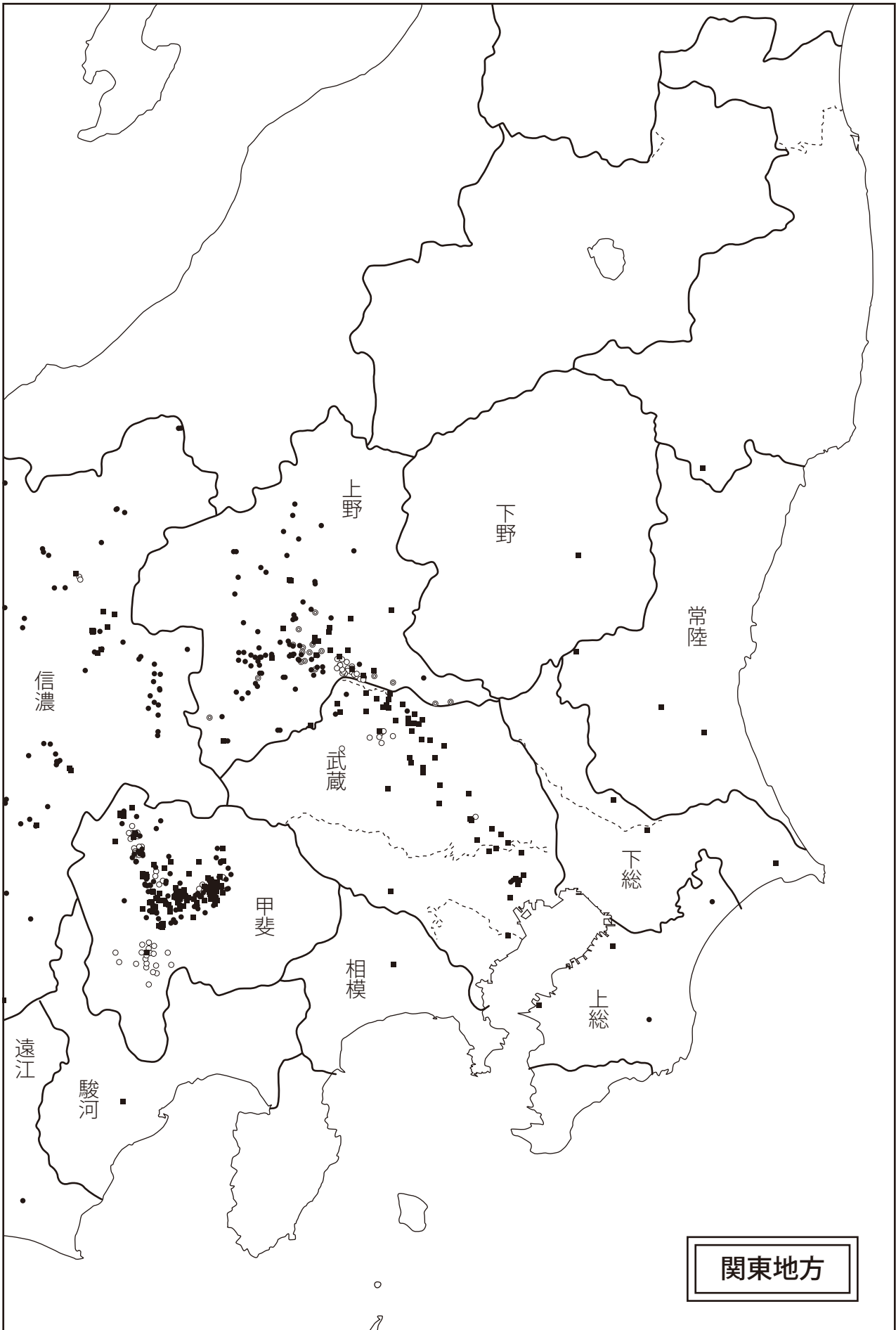
天保 12 年 (1841)										備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
	小佐野伊勢									

天保 12 年 (1841)										備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
			信州大馬郡宝海寺	徳次郎組	2		吉田通り	吉田改所		

天保 12 年 (1841)										備考
吉田經由	吉田御師	胎内通り	檀那所	檀那 (組)	人数	河口御師	吉田經由	吉田御師	胎内通り	
吉田行	田辺伊賀									

図 河口・吉田御師の檀那所と道者

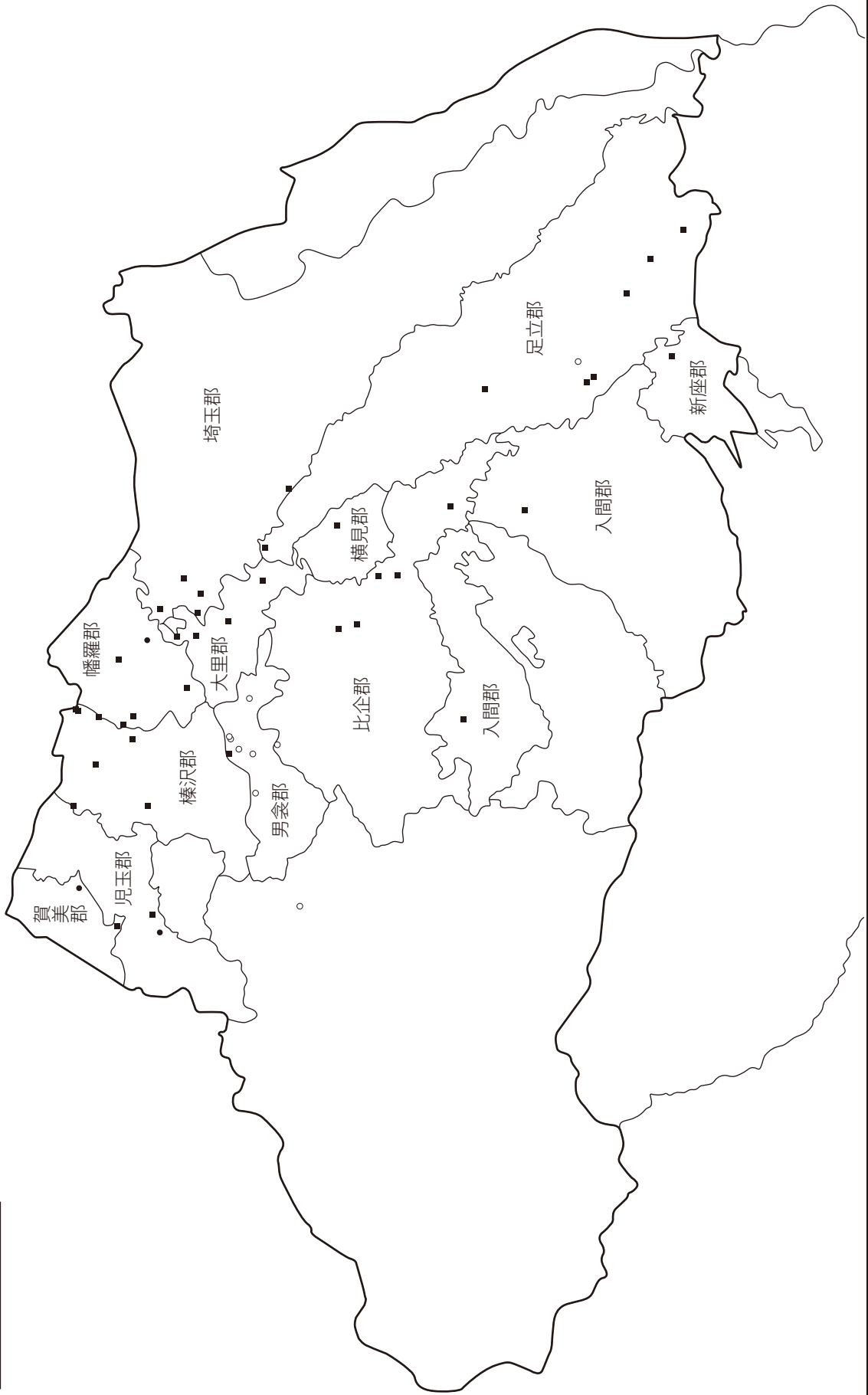




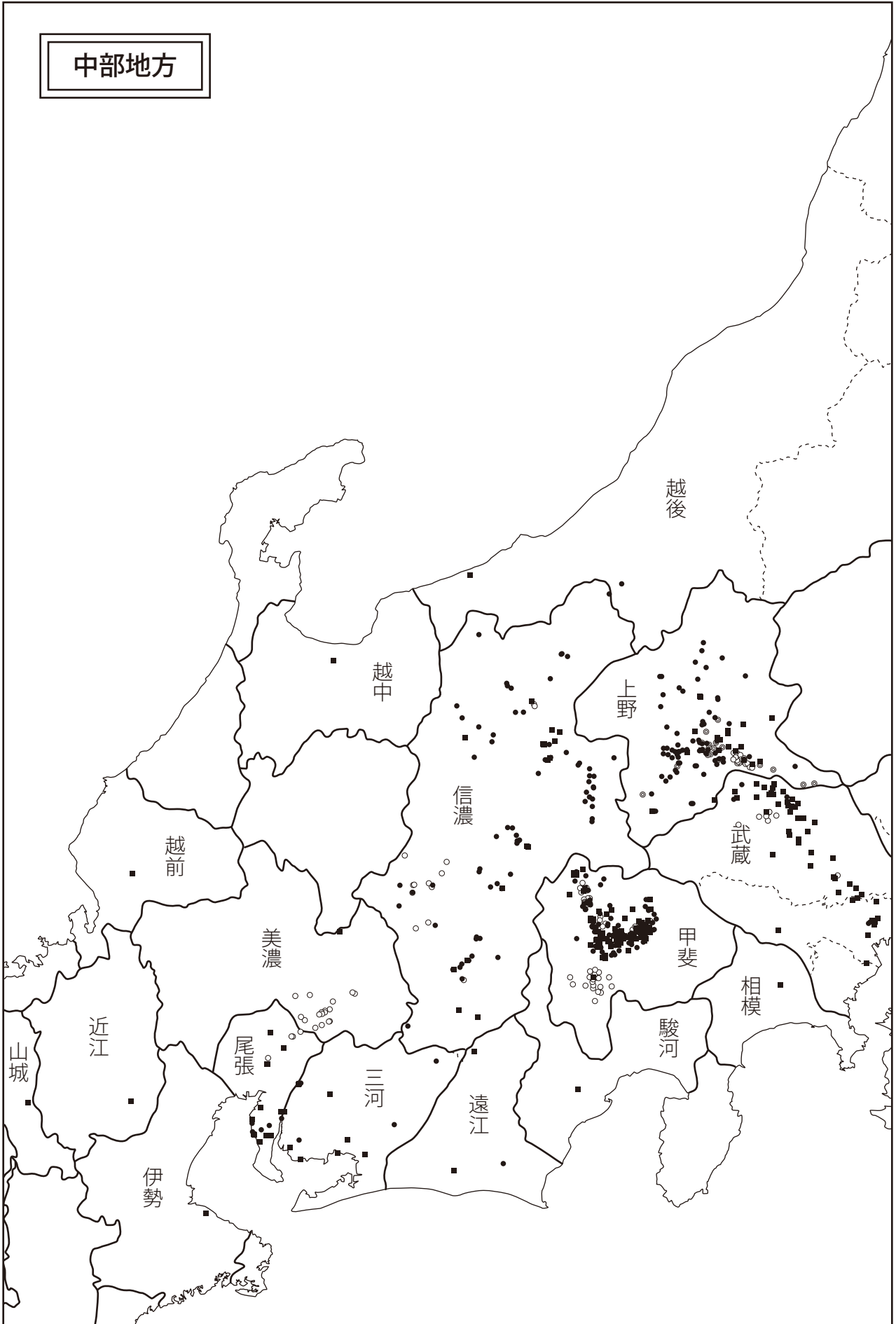
群馬県 上野



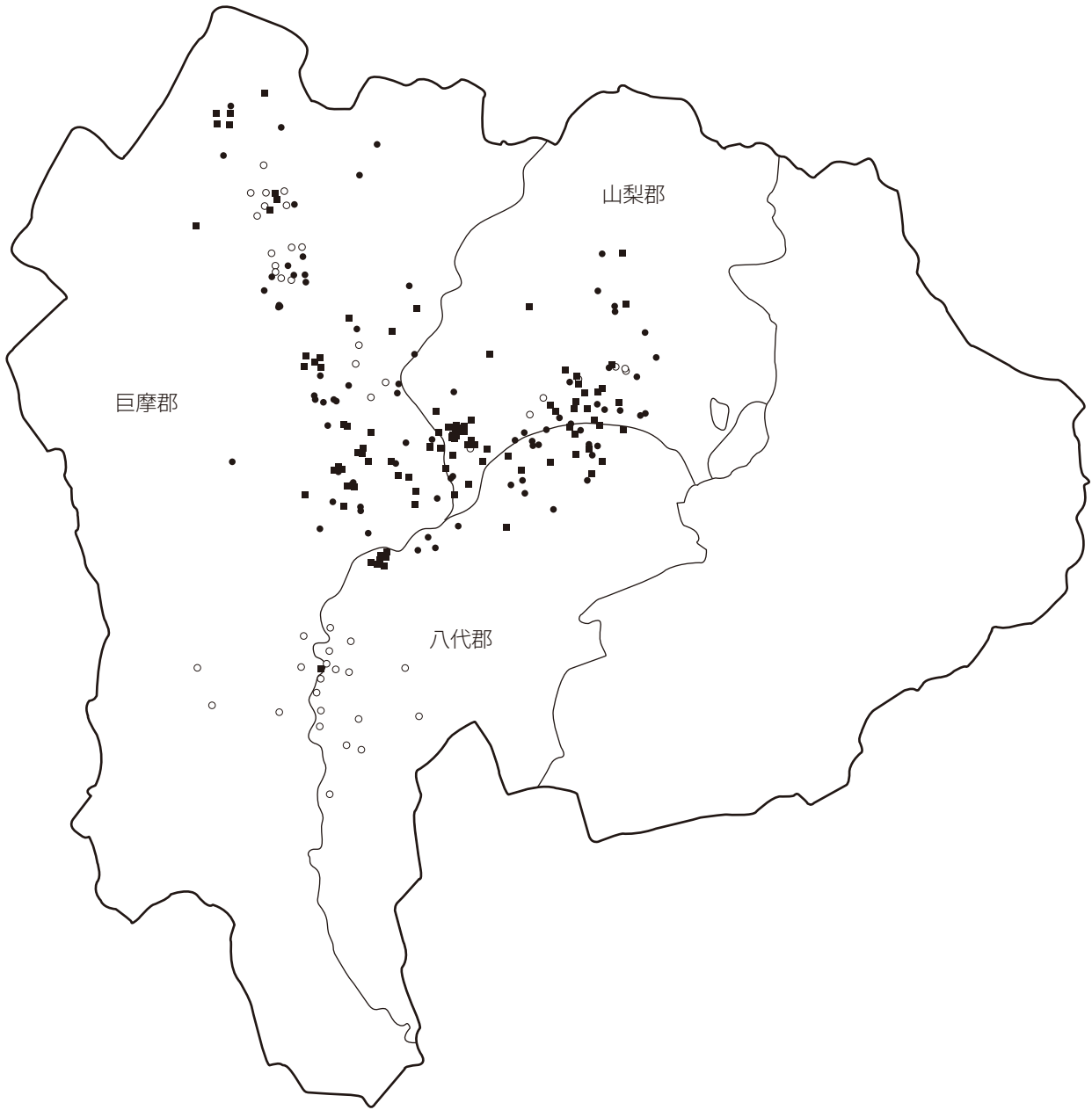
埼玉県 武蔵



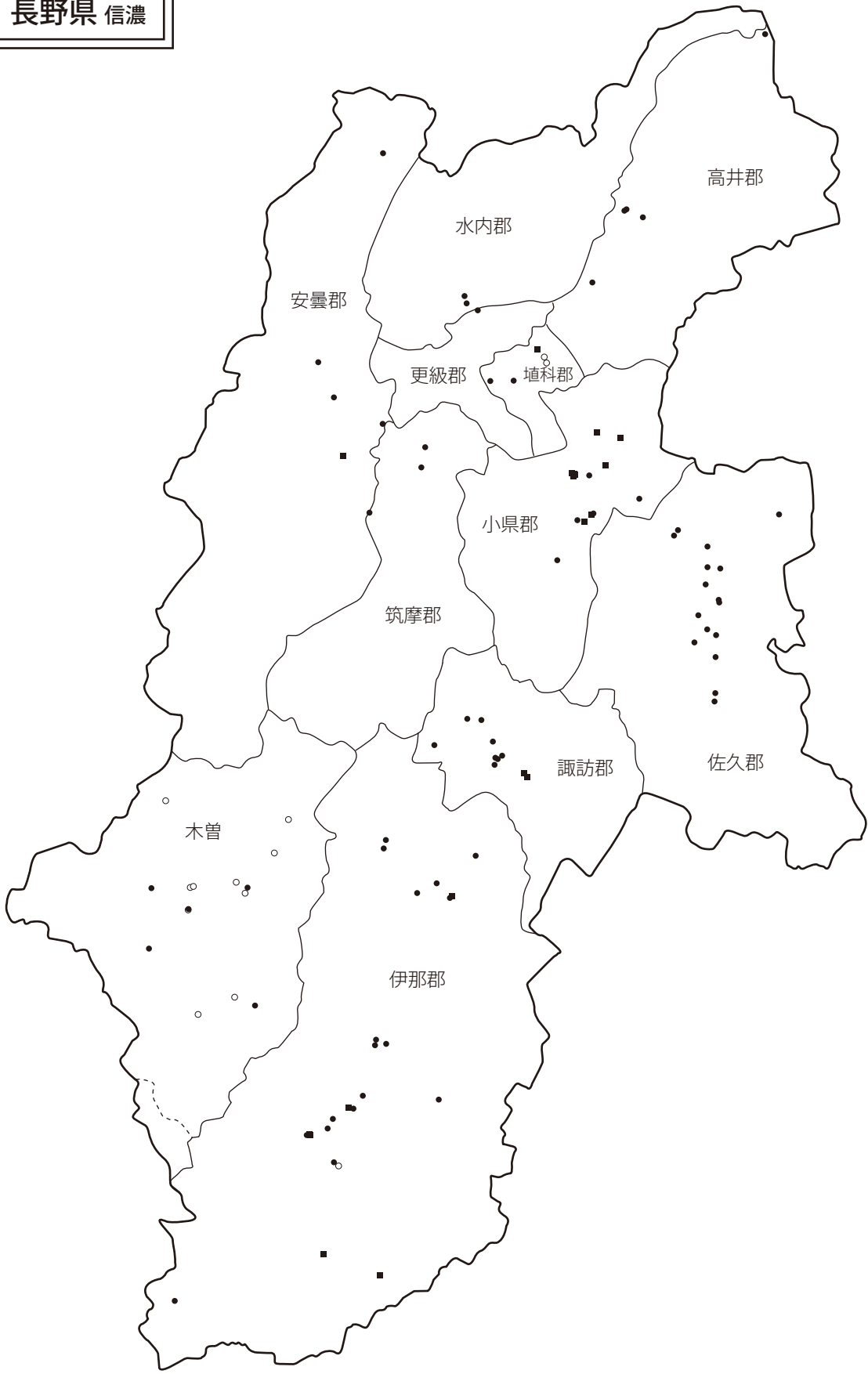
中部地方



山梨県 甲斐



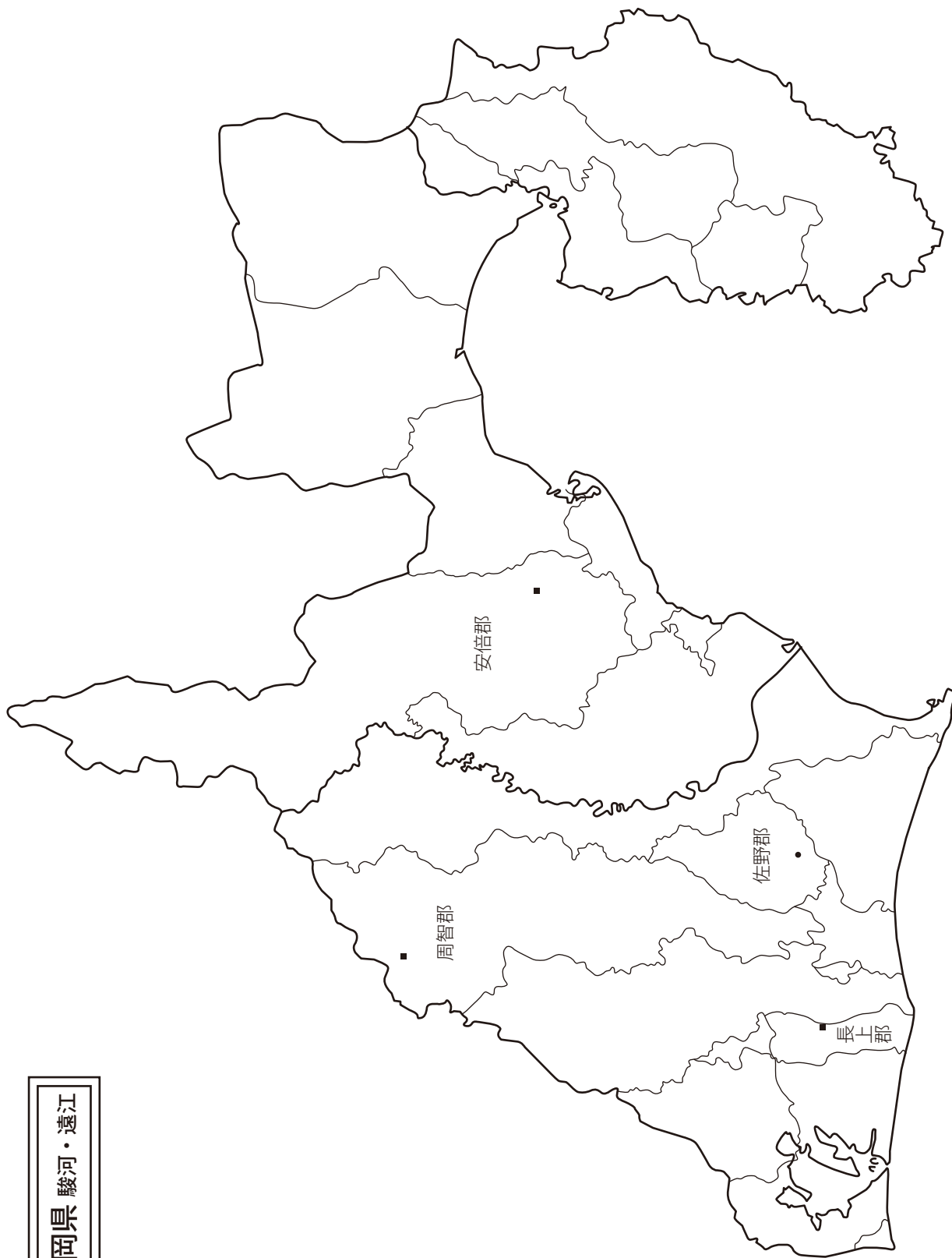
長野県 信濃



岐阜県 美濃



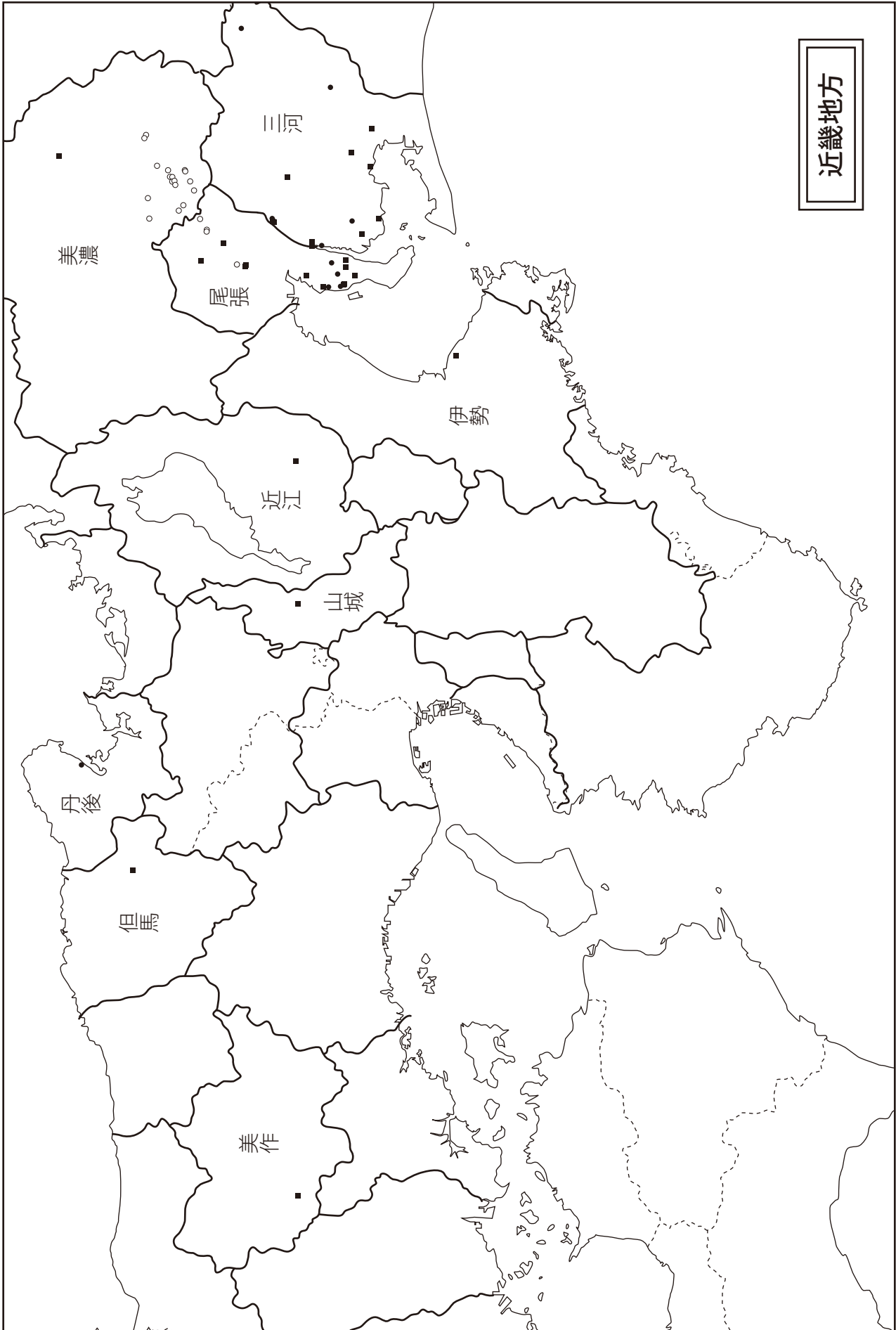
静岡 駿河・遠江

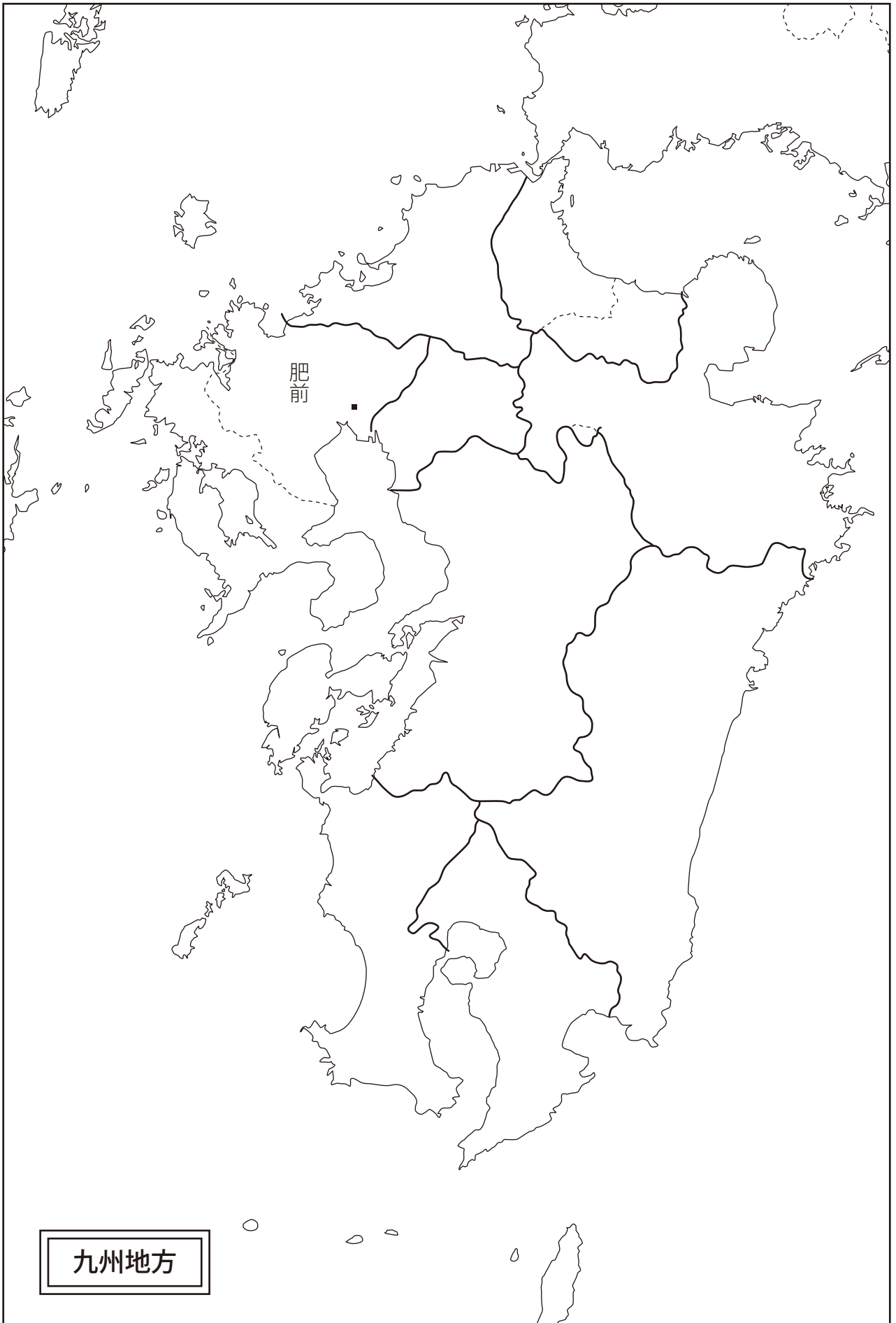


愛知県 尾張・三河



近畿地方





2 富士山北面の参詣路・登拝路

地誌類と絵図に見る古道と山道

甲斐を代表する地誌である『甲斐国志』（以下、『国志』と省略）は、「昔、役小角富士登山ノ時此処ヨリ発シ、迦葉・阿難ノ二嶺ヲ踰テ・精進・西海・長浜・大嵐・大田和・成沢数村ヲ経テ直ニ御室ニ達ス」と記している（巻26、「七覚山」）。また別に、「富士登山ノ古道アリ、相伝フ古ハ川口村ヨリ大石・長浜ヲ歴テ此ヨリ登山セシトゾ」とも記述する（巻16上、「大嵐村」）。阿難・迦葉を越えて山麓に当直する七覚山を基点とする修験の道、河口から大石・長浜を経由する古道、登山道について述べている。二つの道は長浜で一緒になり、大嵐へ到着する。大嵐からは、大田和・成沢（鳴沢）を経て御室に達していたとする。

『国志』は、「登山路ハ、北ハ吉田口、南ハ須走口・村山口・大宮口ノ四道ナリ」と記している（巻35、「富士山」）。北面唯一の登山口を吉田口とする。同書は、それ以前の古い登山道に「ケイアウ道」が存在したが、山崩れによって、当時すでに廃絶していたとする。また「中堂廻ノ道」（中道廻の道、御中道）に続けて、「穴小屋」条で、「鰐口アリ、古道ヨリ掘出スト云」と記述し、「六合目」の記述に移る。六合五勺目端小屋（花小屋）の「諸道具引渡につき覚」（年未詳）の中に「一ハに口 壱つ」が記述される⁽¹⁾。鰐口を掘り出した「織居」（渡辺織居）はこの小屋の所有者である。古道は御中道と関連するのか。

時代は降るが、明治15年（1882）に作成された「富士山麓図」の中に、鳴沢村大田和から小御岳に登る道が記される。大田原（大田和）からナカノコンノヲ（中野根野）へ向かう道の途中を左折し、弓射塚をかすめて樹木の繁茂する山（丸山カ）の背後を回りこむように、小御嶽神社を示す赤い鳥居に達する道を朱の点線で表現する。そこを経て吉田口登山道に点線が伸びており、「大宝年中福地道開ク」と朱書される。この道を「ケイヲ道」（ケイアウ道カ）と記す。同図には、直接御室に向かわずに、小御岳を経由する道が示される。なお小御岳から上は、吉田大沢西岸の屏風岩の途中を左折し、大沢を渡って八合目に結節する形で描かれる。

南面の駿河（静岡県）側の『駿河国新風土記』（天保5年〔1834〕刊）に次のような記述がある。「河口ヨリノ登山ニハ、舟津ニイタリ、夫ヨリ北口ノ正面ヲ登リシガ、コノ道絶シヨリ、今ハコノ舟津ノウチ、胎内ト云ル洞穴アリ。コノ所浅間山王社アリ。神主中村氏。コノ所ヨリ御膳場、三ツ穴ヲノボリ、小御嶽ニイタリ、夫ヨリ尾根伝ヒニ、吉田口五合目ニ会シテ登山ス」。北口の正面に登る道が廃絶したので、胎内を経由する道を用いるようになった。胎内に浅間・山王社があり、神主は中村氏である。この所より御膳場、三ツ穴を登って小御岳に至り、尾根伝いに吉田口五合目に出たとする、このような伝承を掲げている。

船津から山内に入るこの道を、地元では、山道と称してきた。ここでは単に上^{うえ}と呼ぶ集落の中心地より一段上位の溶岩台地上に広がる耕地があり、山道はこの平坦な耕地を過ぎて山内に向かい、狐塚付近で林地に入る。

富士山真図と河口の登山案内絵図

河口湖南岸の船津からの登拝路と御山参詣の実態を明らかにするために、河口の登山案内絵図を見てゆくことにする。これらの案内絵図は関連する立体絵図である富士山真図〔2〕を除いて、4点の案内絵図が知られている（表2参照）。北口本宮御宿坊図〔3〕、富士山頂上御拝所御霊鏡図〔4〕、富士山神系御山絵図〔5〕の3点を数える（表2参照）。

表中の御山名所道之記〔1〕は、江戸時代中期頃のものと考えられる⁽²⁾。厳密には吉田からの登拝を誘う案内絵図であるが、甲府を起点として小田原までの鎌倉街道を二本線でつなぎ、登拝拠点としてのよし田（吉田）と川口の地名を四角に囲み表記する。船津は人穴への道の分岐点として描くのみであり、登山道の認識は示されない。

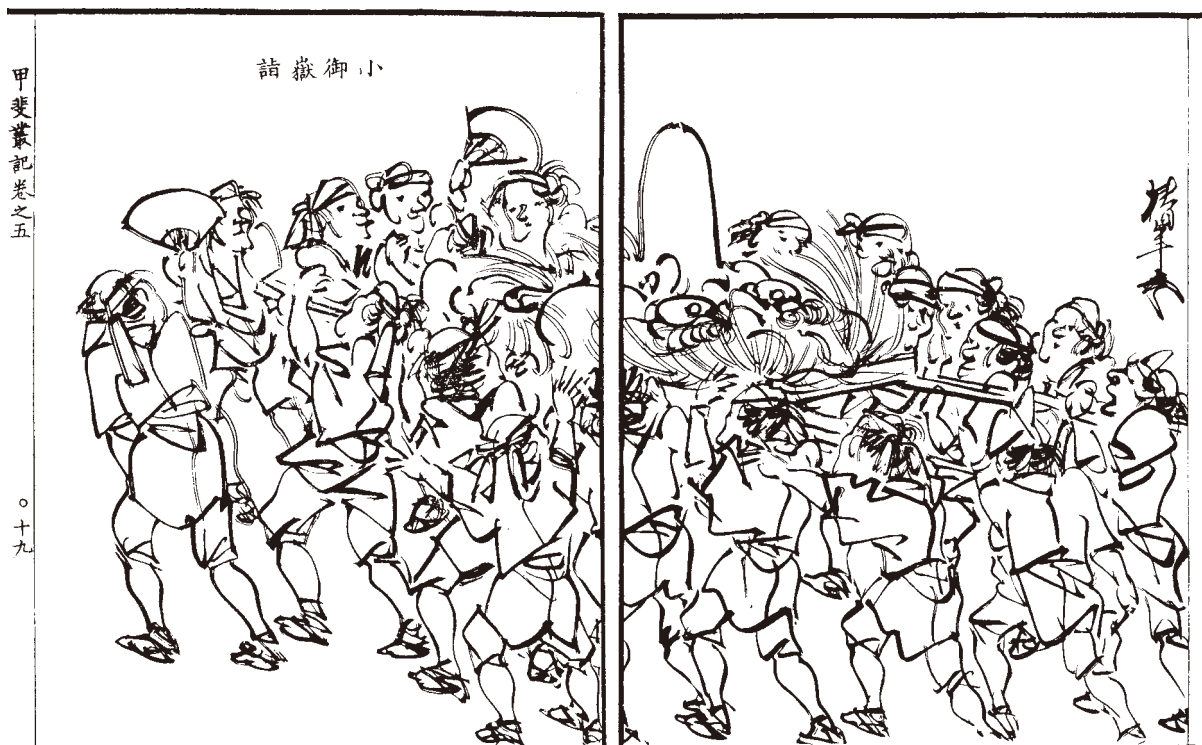
〔2〕は、天保9年（1838）に三日市場村（甲州市塩山）名主家の先祖が作成し、同家に伝来したもの。この登拝路を「富士登山道」と記す最初のものであり、北岸の川口から浅間村（浅川）、湖岸に沿っ

て船津村へ向かい、そのまま山に入る道を表現する。「富士登山道」と注記し、胎内を迂回して、遊境（中ノ茶屋）で吉田口「本道」に合流する道として描く。またこの道の麦売場とミカヘリの間を分岐し、三穴鳥居場、山神宮、水小屋場、風穴カセノミヤから小御岳へ向かう古シノ道スジ（古の道筋）の二筋を描写する。

〔3〕は、大野村（山梨市）名主家に伝来したもので、川口から船津へは、「是ヨリ御師送り舟出ス」、帆船がウフヤカサキ沖からフナツの筒口神社と覚しき森と祠が祀られる前浜を目指すように描かれる。山内は胎内経由で吉田口に合流する道のみを掲げる。絵図の下位に高崎と松本の二方面からの道程を記述する。

〔4〕は、船津から小御嶽に至る道（「風穴道」）のみを描く。「旧船津」「富士登山道」を「御胎内」「水小屋」から「風穴道」を直登する位置に「小御嶽」を置き、そこから八合目へ通ずる登拝路と、ハシリ（走道、下山道）を掲げている。郡内（都留郡）与繩村の富士講村上派の家に伝来することから、12世村上徳永との関係が推測される。

これ以外の資料に、明治初頭頃の富士山神系御山絵図がある。この図は、市川（山梨市）通宝寺に伝来したものと同一であり、甲州国中方面を檀那所とする河口御師が配布したことが推測される。



「小御嶽詣」（『甲斐叢記』）

小御嶽詣と六日菖蒲

小御嶽の信仰を示すものとして、『甲斐叢記』には大西椿年（1792-1851）が描いた「小御嶽詣」挿絵が挿入される⁽³⁾。扇を持つ二人の男に先導され、大勢で天狗面を神輿に載せて担ぐ若い衆が描写される。吉田口から小御嶽道をたどっての小御嶽詣を描いたものと推測される。富士講中による天狗面の奉納であろうか。

ところで、山道（富士登山道）の起点となる船津や西隣する小立には、山遊びの民俗が残されてきた。六日菖蒲といって、若い衆が端午の節供の翌日に五合目（吉田では五合五勺）小御嶽社に集団で参詣することが紹介されるので、「船津地区」のその部分を引用する⁽⁴⁾。「六日青年は真新しい紺の山着もひきをはいて柏餅を持ち、山の神、水小屋を経て富士山五合目の小御嶽神社に参拝、社前の『よき』重さ十六貫を何度も返すか力競べをした。帰りは吉田登山道を下った。紺のにおいを蛇はきらふ為。」と記述する。六日菖蒲の日、若い衆は真新し紺地の山着（仕事着）に股引をはき、柏餅の弁当を持って小御嶽神社に参詣し、神社に奉納された大斧を反転させて力比べをした。「小立地区」についても、「六

日は六日菖蒲といってこぞって富士山の小御岳とか、三ツ峠へ登ったものであった。全休日である。」との記述がある。河口湖南岸の若い衆は、このように六日菖蒲を行ってきた。これらの行事は、おそらく近世に遡る伝統的なものといえよう。

「胎内通り」の御山参詣

御坂峠越で北面を登山する道者は、必ず川口を通過することになり、川口に到着するか、ないしはそこを通過して吉田に至る（「吉田行」）。川口に投宿した道者は、翌日には湖南の船津へと進む。舟で渡る方法も取られ、その場合には筒口神社の前浜（船津浜）で舟を下り、山内の小御嶽へ向かう山道をたどる。この場合には、途中で吉田口登山道に連絡する横道、胎内道を利用して同登山道の遊境（中ノ茶屋）への最短の道筋を登り、この全体を「胎内通り」と呼称した。さらには直接小御嶽に登る登山も行われたとされる。小御嶽に参詣する山道を、登拝路としても利用した。

川口から胎内通りを利用する登山が顕在化するのには、資料から見る限り天保期以降のことと考えられる。遡っても、胎内が信仰拠点として整備された宝暦2年（1752）以降のことであろう⁽⁵⁾。この時代、登拝する道者が増加したことが推測される。〔2〕図の川口御師町の入口に「登山人改所」が表記される。ここでは村内入口の御師の家を会所（改所）に定めたという⁽⁶⁾。登山人の改めをここで行っていたことになる。同図に見られるように、幕末期には独立の施設が設けられたのか、今一つわからない。

甲州国中か登頂する道者は、多くが吉田へ向かっている。富士講は河口を通過して吉田に到着する。遠隔地から到着する道者は、「胎内通り」を選択し、先を急ぐものが少なくない。

河口には、高橋家、本庄家などを除くと、ほとんど御師住宅が残されていない⁽⁷⁾。またその増改築も見ることもないことから、どの程度道者を宿泊させたのか、実態は不明である。一方で、河口に到着した道者は必ずしもそこに宿泊するとは限らない。その多くは山内（主に五合目）に宿泊したようである⁽⁸⁾。ここでの御師活動は、配札を主体とするものから、道者を投宿させる宿坊の経営に軸足を移していったと考えられるが、その解明は今後の課題である。

注

- 1 『富士吉田市史』史料編 近世Ⅲ〔富士信仰編〕、富士吉田市、1997年
- 2 富士八海の中に芦ノ湖が示され、四尾連湖は描かれていない。『富士山登山案内図』富士吉田市歴史民俗博物館、2000年
- 3 『甲斐叢記』
- 4 『河口湖の年中行事』河口湖町教育委員会、1989年
- 5 この胎内に先行する胎内（旧胎内）は船津地内の別の場所（焼入という）に存在した。「世界文化遺産富士山の構成資産・参詣道と富士河口湖町」（シンポジウムレジメ、2016年）
- 6 『富士の歴史』名著出版、1973年
- 7 『山梨県史』文化財編、1999年
- 8 『富士吉田市史』史料編5〔近世Ⅲ〕、『富士山総合学術調査研究報告書2』資料篇V章など

表2 御坂峠越の参詣路と山道・風穴道

場 所	「御山名所道之記」〔1〕 (江戸時代中期)	「富士山真図」〔2〕 天保9年(1838)	「兩御祈願所 北口本宮御師宿坊」〔3〕 万延元年(1860)カ (中山道より不二山道法略) (信州松本より道法略)	「富士山頂上御拜所御霊鏡」〔4〕 (明治時代初頭)
高崎 板鼻 安中 松井田 坂本			高さき 板はな 安中 松井田 坂本	
軽井沢 沓掛(中軽井沢) 道分 小田井 岩村田 野沢 松本 白田 村井 高野町 塩尻 上畑 下諏訪 海尻 上諏訪 海ノ口 金沢 平沢 葛木			軽井沢 くつかけ 追わけ 小田井 岩村田 野さハ 松本 白田 村井 たかの町 塩尻 上畑 下のすハ 海尻 上のすハ 海ノ口 金沢 平さハ つたき	
長沢 若神子 教来石 中条 台ヶ原 菑崎 甲府 善光寺 笛吹川 石和 鶴飼川 成田 黒駒 藤ノ木	甲府 善光寺 舟渡し(川) いさわ ウカイ(川) 黒駒 藤ノ木	(木戸)	長さハ 若神子 教来石 中条 大か原 にらさき にらさき 甲府 石和舟渡し 成田立場 黒駒 藤ノ木	
天神峠 母ノ白滝 河口関跡 山神社	天神(峠)	甲州郡内境 天神峠 富士白滝 一本榎 川口関アト ホロカケ榎 山神宮	三坂峠(鳥居)	
大檜 河口 川口社	川口	大檜 駒形明神社 川口駅 本津宮 神木大杉 (鳥居) (随神門) 北口大元壺 (本殿) 川口明神社	入口 神代杉(駒形社) (鳥居) 登山人改所 川口御師町 (建札) (鳥居) 高サ五丈八尺 (随神門) ヒイラ石 本宮 (拝殿) (本殿)	大檜旧セキ(檜・駒形社) 河口駅 本杉(杉) 富士山北口本社浅間神社 (拝殿) (本殿) 御霊鏡铸造所
河口湖 産屋ヶ崎 小曲崎 白山神社		(川口湖) コマ□□石 産屋ヶ崎 コカヘリカサキ 白山明神 生シ石	是ヨリ御師 送り舟出ス 川口湖 ウノシマ (鳥居) ウフヤカサキ アサ川	渡舟 河口湖 ウノシマ 産屋サキ浅間社
八王子神社 筒口神社 船津 船津口登山道 吉田 麦売場 見返 剣丸尾 船津胎内 遊境 馬返	よし田	山王宮 筒口明神 舟津村 富士登山道 麦売場 ミカヘリ マルイ石海 (鳥居) 胎内道 胎内浅間 胎内 遊境 馬カヘシ	フナツ 御胎内 ユウキウ 馬カヘシ	旧舟津 富士登山道 御胎内 御内八海

一合目		本山始一合目 鈴原大日宮	(鳥居) 鈴原一合	
二合目		二宮(本殿) 役行者堂	(鳥居) 小室 行者	水小屋
三合目 四合五勺		富士山ノ白ツエ 三軒茶屋 御座石(鳥居) 浅間社(二祠)	白ツエ コサ石	風穴道
五合目	中宮	中宮入口 (小屋) (小屋) (小屋) (小屋) (稲荷) 中宮 此所ヲ天地ノ 境 (冠木門) 本道 経ヶタケ 姥ヶフトコ 不浄ヶ岳 穴小屋	中宮 (鳥居) 経ヶタケ	小御岳社
六合目 七合五勺		カンマン岩 鳥帽子岩 (祠)	カマユハ エホシ岩	ハシリ
八合目 九合目 頂上	大行合	八合目 大行合	八合目 大行合 向ヤクシ	八合目 (御霊鏡)

※()内は描かれた場所・施設を表す。

〈主要参考文献〉

- 『甲斐国志』大日本地誌大系 44、雄山閣、1968 年
『甲斐叢記』甲斐志料集成第 1 巻、歴史図書社、1980 年
『甲斐国社記寺記』第 4 巻、山梨県立図書館、1969 年
『大原庄甲斐国志草稿』(財)富士博物館、2006 年
伊藤堅吉『富士山御師』1968 年
甲州史料調査会「富士御師のいた集落」河口湖町シンポジウムの記録、1998 年
甲州史料調査会『河口湖の古文書と歴史』成果報告会報告書その 2、2005 年
富士吉田市『富士吉田市史』史料編第 2 巻(古代・中世)1992 年
富士吉田市『富士吉田市史』史料編第 5 巻(近世Ⅲ)、1997 年
富士吉田市教育委員会『富士山吉田口御師の住まいと暮らし』富士吉田市文化財調査報告書第 7 集、2009 年
『ふるさとの地名考 河口・大石之部』河口湖の文化財第 4 集、河口湖町教育委員会、1985 年
『ふるさとのみち』河口湖町の文化財第 7 集、河口湖町教育委員会、1988 年
『河口湖町の年中行事』河口湖町の文化財第 8 集、河口湖町教育委員会、1989 年
山梨県『山梨県史』資料編 4(中世 I 県内文書)、1999 年
山梨県『山梨県史』民俗編、2003 年
山梨県教育委員会『山梨県の祭り・行事』、1999 年
山梨県教育委員会『富士山』山梨県富士山総合学術調査研究報告書、2012 年
山梨県教育委員会『山梨県の民俗芸能』山梨県民俗芸能緊急調査報告書、2012 年
山梨県立博物館『河口集落の歴史民俗的研究』調査・研究報告 7、2014 年
山梨県『山梨県富士山総合学術調査研究報告書 2』富士山世界文化遺産保存活用推進協議会、2016 年

あとがき

山梨県富士山総合学術調査研究の第2次調査をとりまとめ、平成28年(2016)に『富士山 - 山梨県富士山総合学術調査研究報告書-2』が刊行された。また、これに先行して同26年(2014)には、博物館の調査・研究報告書7『河口集落の歴史民俗的研究』として、登拝拠点集落・河口の檀那所や御山参詣する道者について報告した。これらを統合し、その成果を県立博物館の調査研究活動として、補足調査を行い、内容を整理して刊行したものが本書である。

第2次調査報告書の「成果と課題」の中で、歴史分野の成果として、河口御師の文書調査をあげ、梅屋(梅谷)本庄(元直)家、本庄(邦久)家の文書を整理して目録を作成したとし、また、今後の課題としては、信仰施設に準じて調査対照とし、今後調査を継続することが求められるとしている。このような問題意識に基づいて調査研究したものである。

本書の内容として、川口(河口)御師の檀那所を探り、御坂峠越で登拝拠点集落に到着する道者について整理した。河口は、鎌倉街道(鎌倉往還)に沿った中世の河口宿から、その後の登山拠点集落へと展開した。御山に登拝する道者を受け入れて大きく発展したのは、江戸時代に入ってからのものであり、その初期には「河口十二坊」と呼ばれるように、複数の御師が成立し、同後期には百坊余が存立したとされる。河口に到着する道者は、甲府盆地経由でやってきて、御師宅で道者改を受けた。河口御師のもとに名前を記す者は、多くが船津から胎内(船津胎内)経由で遊境に出るが、一部は吉田に向かっている。そこに迂回するのは富士講を指向する一団と推測される。

本報告の中核には、2冊の文字資料を表と図に整理して掲げた。天保9年[1838]「富士登山人改帳」に加え、同12年[1841]「富士登山道者人別改帳」から作成した。河口に到着し、あるいは通過した道者、国・郡ごとに整理・配列して地図化した。

以上、主に北面の登拝拠点に集う道者を扱った取組について記してきたが、今後に向けた課題も残されている。この分野では、御師に限らず、体系的な資史料の検索・整理と、翻刻・資料化をいっそう進める必要がある。

山梨・静岡の両県に跨がって富士山は存在する。山梨県は富士山の北半部を構成し、南半部の静岡県とあわせ、その山麓には数多くの市町村が散在している。これらの地域に住む人びとは、富士山からの直接的な影響を受けながら、自分たちの生活の一部として富士山と関わっており、その関わりを、地域の文化的な特質として相対化して捉えることが必要とされている。山もとの登拝口集落の調査研究についても、北面の河口や吉田に加え、東・南面の須走や須山、大宮・村山口の各登拝口の研究成果と一緒に、一つの富士山として統合・普遍化し、全体の中で位置づけることが求められている。

最後に、本書の刊行にあたって、多くの方々、関係機関にご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

(堀内)

山梨県立博物館 調査・研究報告 12
富士御師の檀那所と御山参詣

編集・発行 山梨県立博物館
〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1501-1
TEL 055-261-2631

発行日 平成 28 年 3 月 25 日
印刷 株式会社 峡南堂印刷所
